

京都モダン建築祭

KYOTO
MODERN
ARCHITECTURE
FESTIVAL



開催概要

名 称 京都モダン建築祭

会 期 2023年11月2日(木)～12日(日)

一斉公開 11月2日(木)～4日(土)、10日(金)～12日(日) 計6日間

主 旨 京都で大切に守られてきたモダン建築が、年に一度、一斉に扉を開く。

京都の建物や営みが“生きた文化財”として受け継がれ、

時代に相応しい形で共に未来へ進んでゆける社会をめざす建築一斉公開プロジェクト。

主 催 京都モダン建築祭実行委員会(京都市、京都市観光協会、京都ユースホステル協会、まいまい京都)

共 催 京都市

協 力 京都市交通局、公益財団法人京都市スポーツ協会、京都岡崎魅力づくり推進協議会、

京の三条まちづくり協議会、京都美術工芸大学、京都駅ビル開発株式会社、株式会社あめりか屋、

株式会社魚谷繁礼建築研究所、株式会社熊倉工務店、株式会社 JR西日本コミュニケーションズ、

株式会社長谷ビル、株式会社ルウルウ商會

パートナー 京都信用金庫、Kyoto Localized

採 択 令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)



開催実績

日程 **2023年11月2日(木)～12日(日)**

会期 **11日間**(一斉公開**6日間**)

来場者数 **4.9万人** 一斉公開6日計(2022年 3.0万人)

参加建築数 **79件**(2022年36件)

パスポート公開建築数 **51件**(2022年21件)

特別ツアーの開催数 **39コース 52回**(2022年16コース27回)

特別ツアー参加者数 定員**999人** 応募総数**4112通** 平均倍率**4倍**

文化財マネジャーのミニツアー開催数 **3コース 79回**

文化財マネジャーのミニツアー参加者数 **695人**(2022年200人)

連携企画の実施数 **34件**(2022年28件)

オーディオガイド新規収録建築数 **24件**(2022年23件)

サポートスタッフの人数 **252人**(2022年実働169人 応募220人)

公式ウェブサイトセッション数 **229,146ss**(2022年140,273ss)

公式ツイッター(X)のフォロワー数 **4,676人**(2022年2,856人)

公式インスタグラムのフォロワー数 **2,637人**(2022年991人)

メールマガジン登録者数 **4,418人**(2022年1,688人)

メディア掲載件数 **45件**(2022年40件)

フライヤーの印刷数 **35,000部** (2022年30,000部)

ポスターの印刷数 **300枚**(2022年40部)

協賛・寄付 **1,843,350円**

企業協賛 **2社 800,000円** 個人寄付 **75人 1,043,350円**



参加者

来場者数 6日計 のべ49,000人

※パスポート公開の受付集計

11月2日(木)	4,500
11月3日(金・祝)	7,600
11月4日(土)	8,600
11月10日(金)	5,500
11月11日(土)	11,000
11月12日(日)	11,000

■10～20代の増加

次世代参加促進のため30歳未満を対象とした「U29パスポート」を発行。個人購入のほか、大学等教育機関からの団体購入、また授業課題での利用例もあった。その結果、パスポート購入者のうち、20%が10～20代と、若年層が五分の一を占めた(2022年15%)。

パスポート発行枚数 5,234枚

- パスポート一般(全期間) 1,875枚
- パスポートU29※(全期間) 860枚
- 1DAYパス(日付指定) 2,499枚



パスポート(全期間)



U29パスポート(全期間)



11/10 11/11 11/12 1DAYパス(日付指定)

※U29=29歳以下(1993年1月1日以降生まれ)の方を対象にしたパスポート

購入方法内訳

- オンライン決済(パスマーケット) 4,576枚(2022年3,842枚)
- コンビニ(セブンイレブン)店頭購入 331枚
- 京都市営地下鉄乗車券セット販売 127枚(2022年532枚)
- その他 93枚(2022年12枚)
- 寄付返礼 107枚

来場者の多かったパスポート公開建築 10



平安女学院大学
明治館・有栖館 4,506人
2日計／御所西エリア



京都市役所本庁舎 3,334人
6日計／中京エリア



国立京都国際会館 2,370人
2日計／その他エリア



カトリック河原町教会 2,061人
4日計／中京エリア



京都府立図書館 1,943人
6日計／岡崎エリア



島津製作所
創業記念資料館 1,862人
4日計／中京エリア



時忘舎 1,691人
6日計／岡崎エリア



本願寺伝道院 1,536人
3日計／京都駅・七条エリア



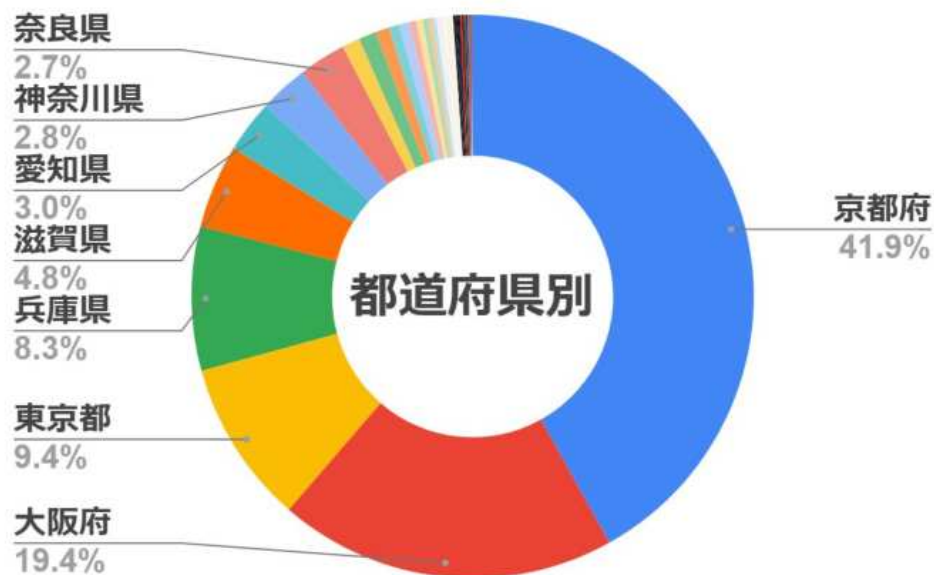
京都府庁旧本館 1,392人
4日計／御所西エリア



京都御幸町教会 1,385人
4日計／中京エリア

パスポートWEB購入時アンケート [回答数 3,592]

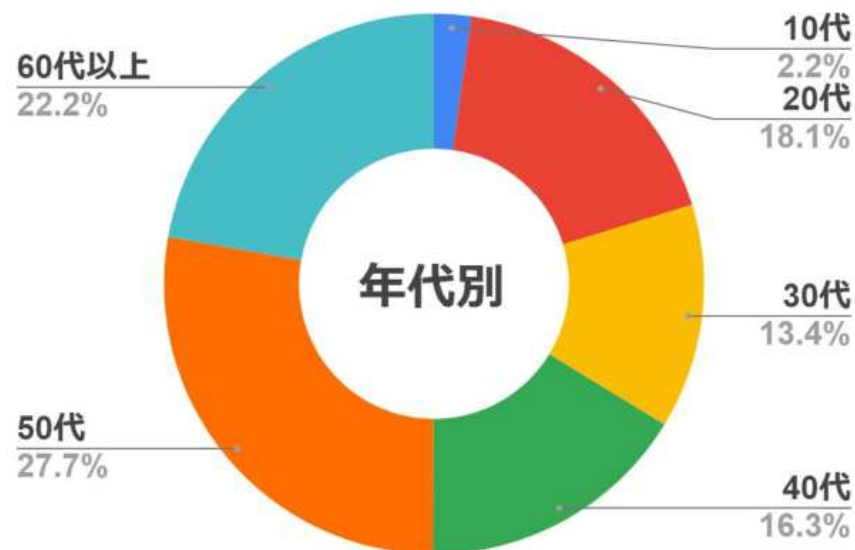
居住地はどちらですか？



■京都40%、近畿圏80%、首都圏は14%

京都府が42%、次いで大阪府が20%と続く。兵庫8.3%、滋賀4.8%、奈良2.7%と合わせると、全体の約8割が近畿圏からの参加。首都圏は14%に留まる。地元や周辺地域からの参加が多かった。

年代を教えてください

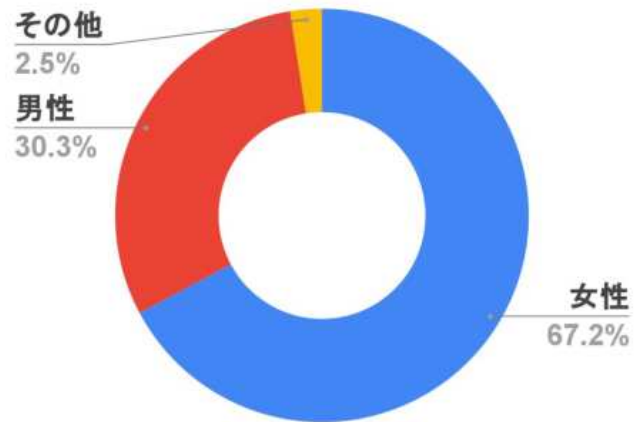


■20%が10～20代、若者層の増加

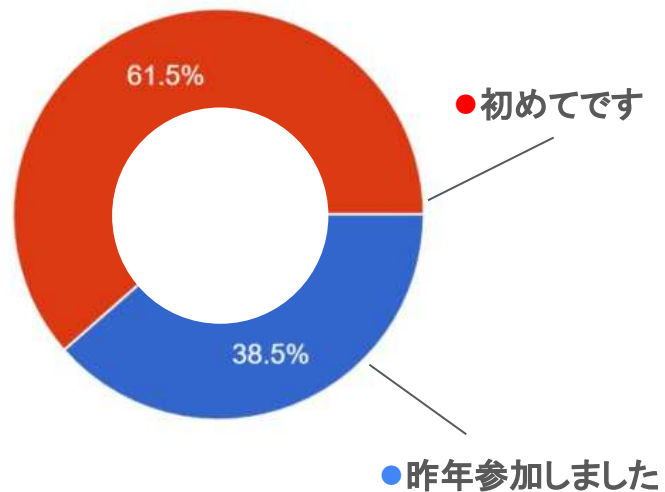
年代別では50代28%、60代以上22%と続くが、特筆すべき特徴として、その次に10～20代が20%（2022年15%）と、若年層が増加し、全体の5分の1を占めた点が挙げられる。

参加者アンケート [回答数1,170]

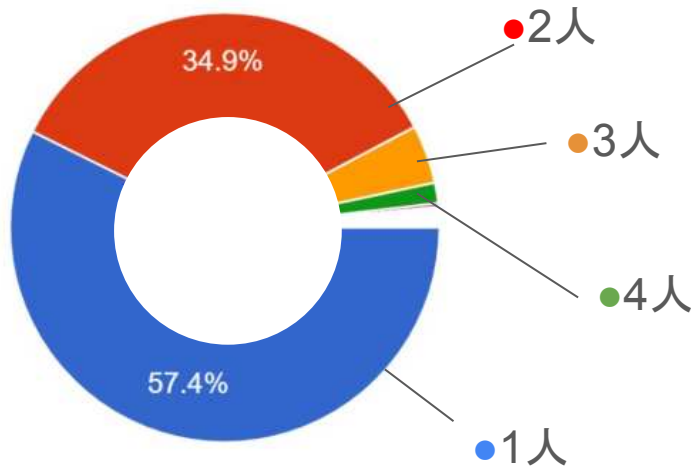
性別



昨年の京都モダン建築祭に参加しましたか？

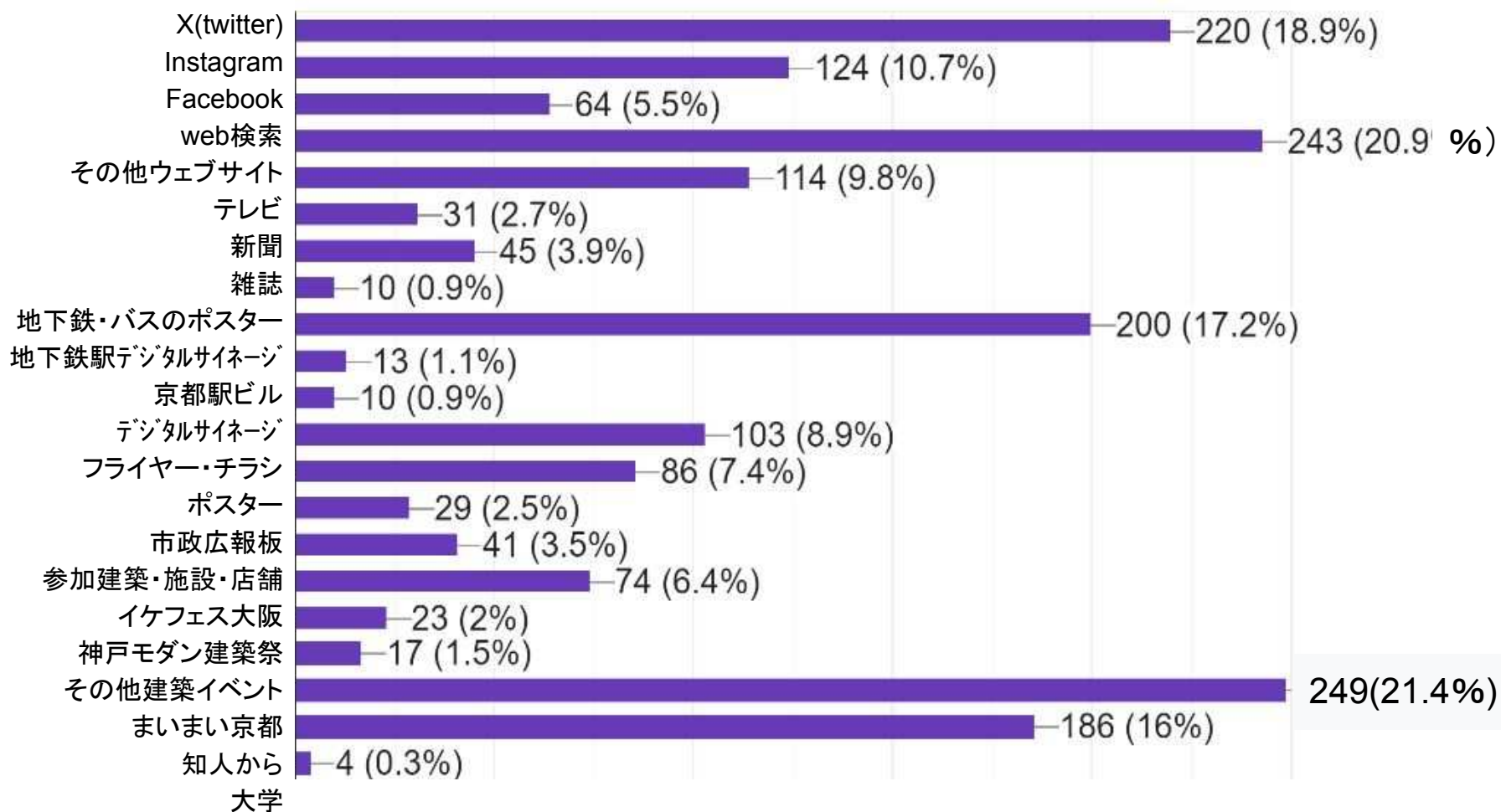


何人で参加しましたか？



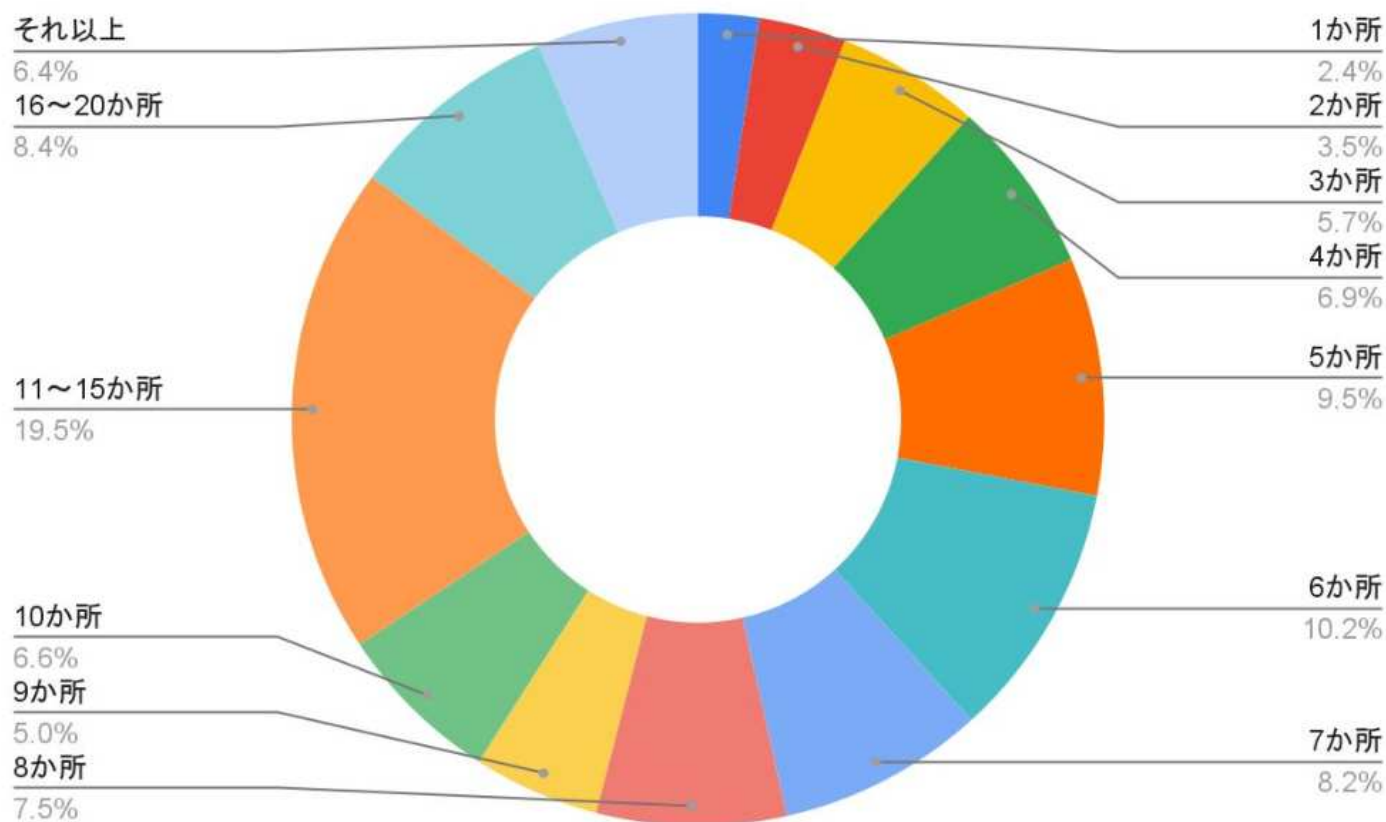
参加者アンケート [回答数1,170]

京都モダン建築祭を何で知りましたか？（複数回答可）



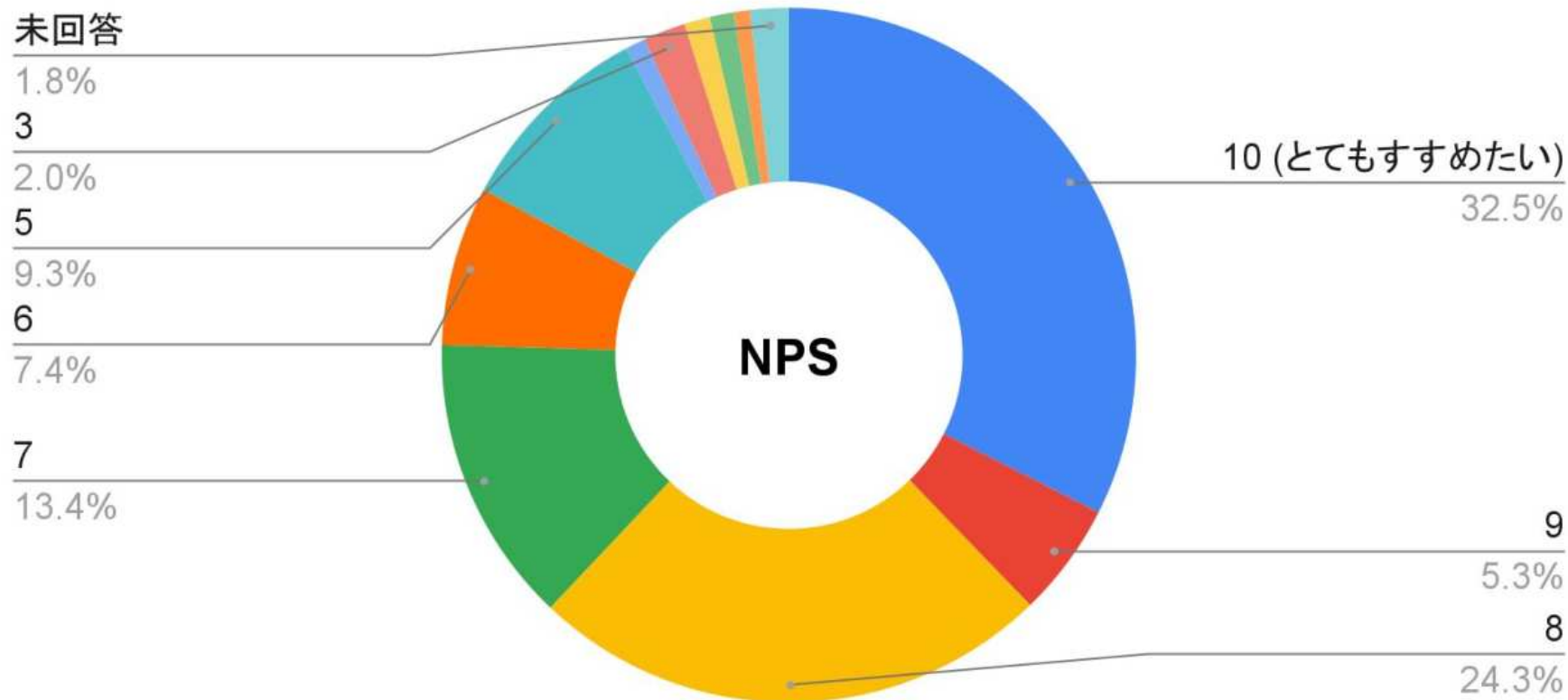
参加者アンケート [回答数1,170]

(パスポート公開建築) 何カ所まわりましたか？



参加者アンケート [回答数1,170]

京都モダン建築祭を知人友人にどの程度すすめたいですか？



■NPS®指標は向上、さらなる”愛情の伝播”を

NPS®: 企業や商品・サービスへの信頼や愛着度を数値化し、顧客ロイヤルティを測る指標。

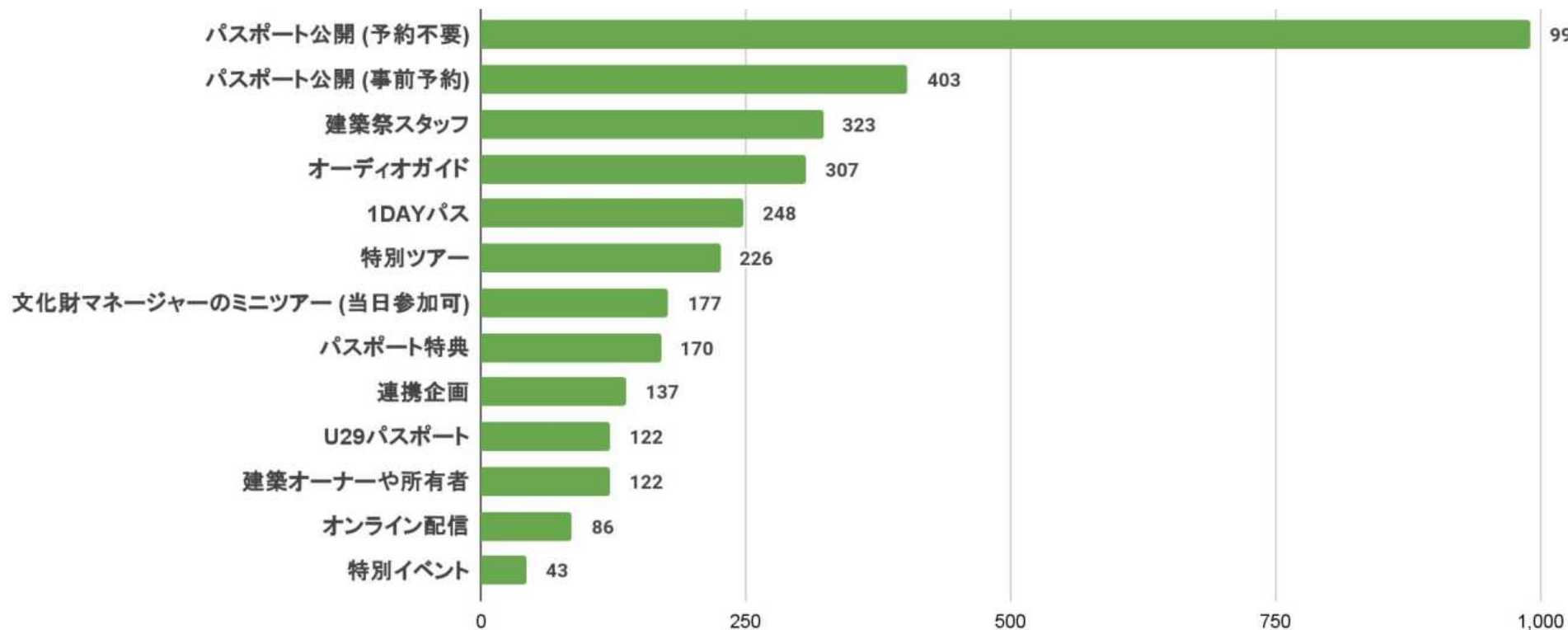
「Net Promoter Score(ネット・プロモーター®・スコア)」の頭文字。

2023年京都モダン建築祭のスコアは15.32。2022年のスコア-16.26に比べて31.58向上した。

引き続き質的向上をはかり、さらなる”愛情の伝播”をめざしていく。

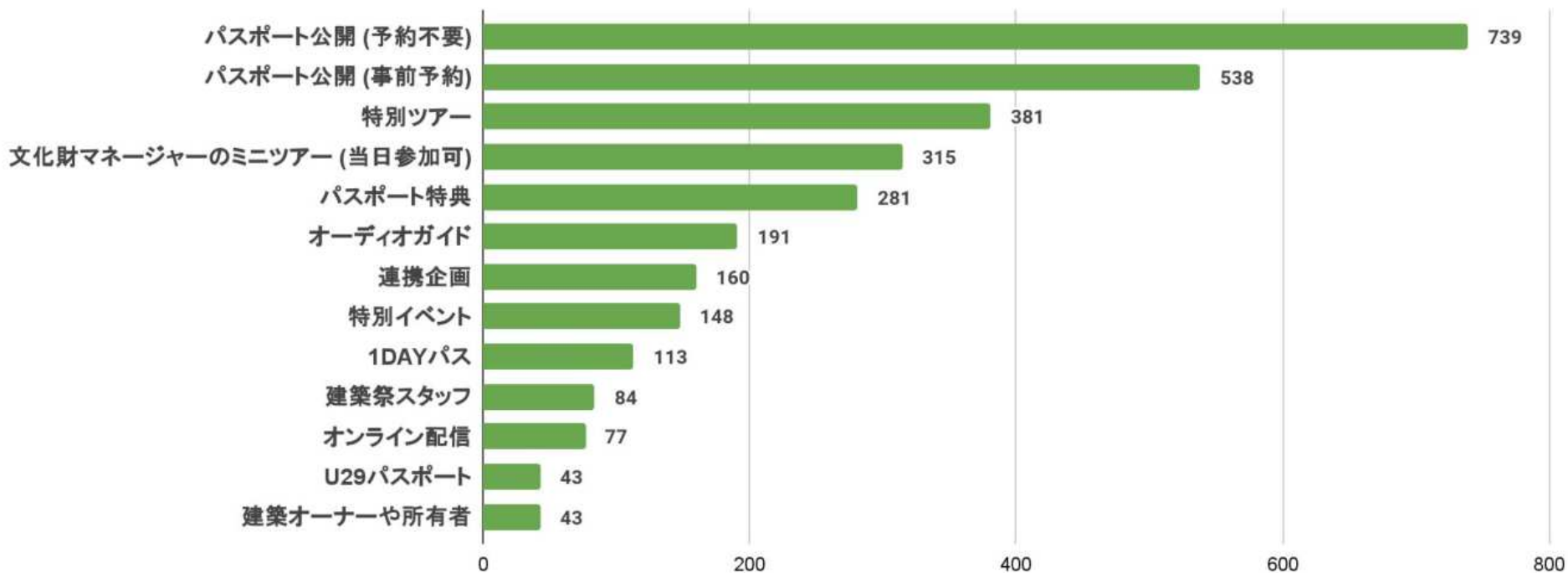
参加者アンケート [回答数1,170]

よかったプログラムなどを全て選んでください (複数回答可)



参加者アンケート [回答数1,170]

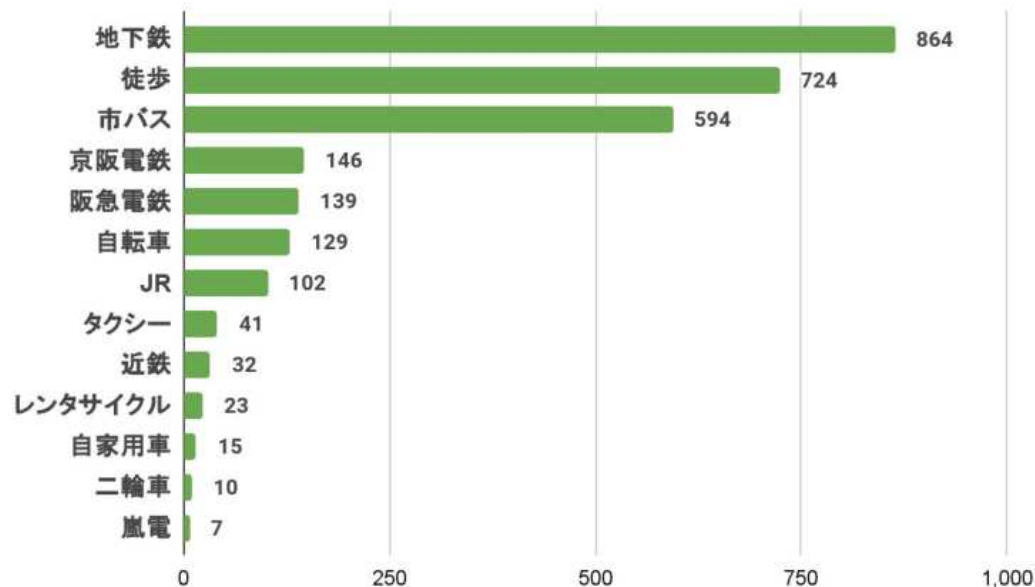
今後もっと充実してほしいプログラムなどを全て選んでください (複数回答可)



参加者アンケート [回答数1,170]

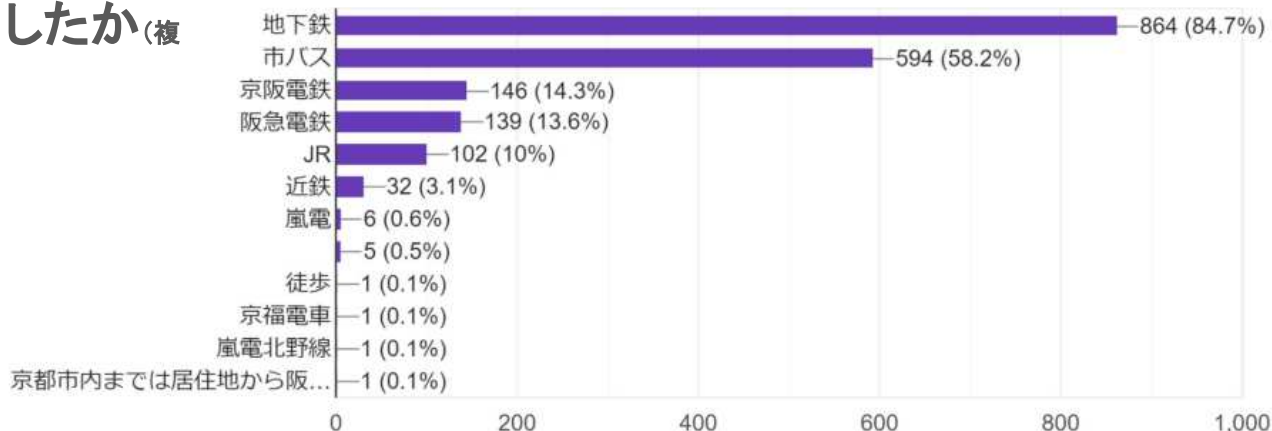
よく利用した交通手段

(複数回答可)



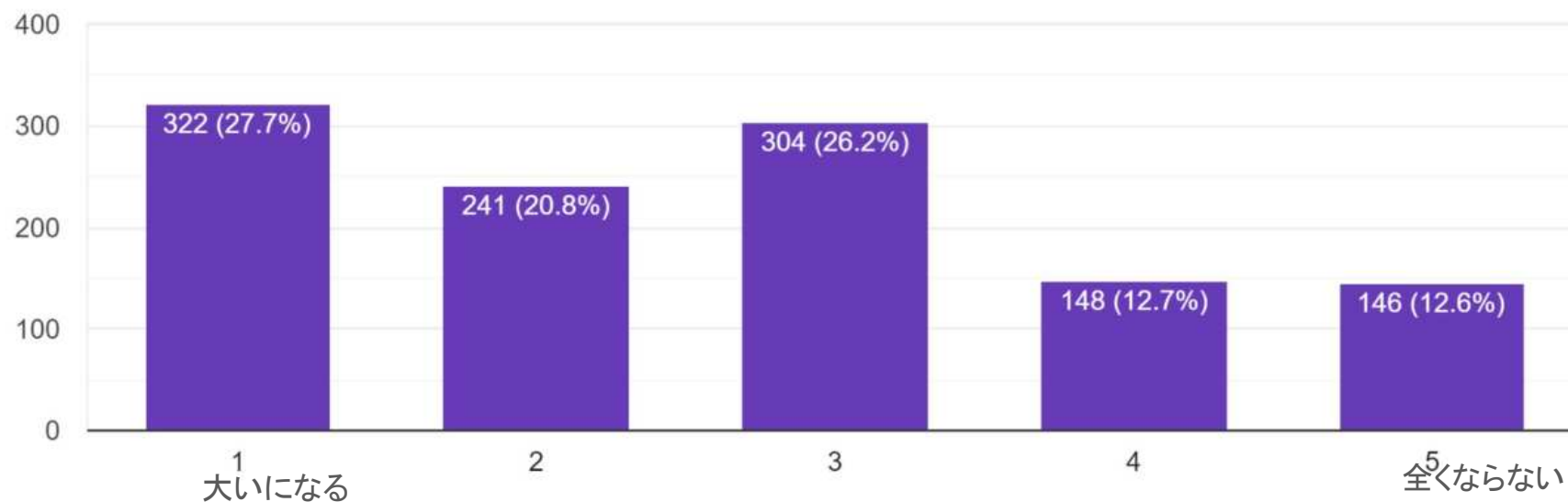
どの公共交通機関を利用したか

(複数回答可)



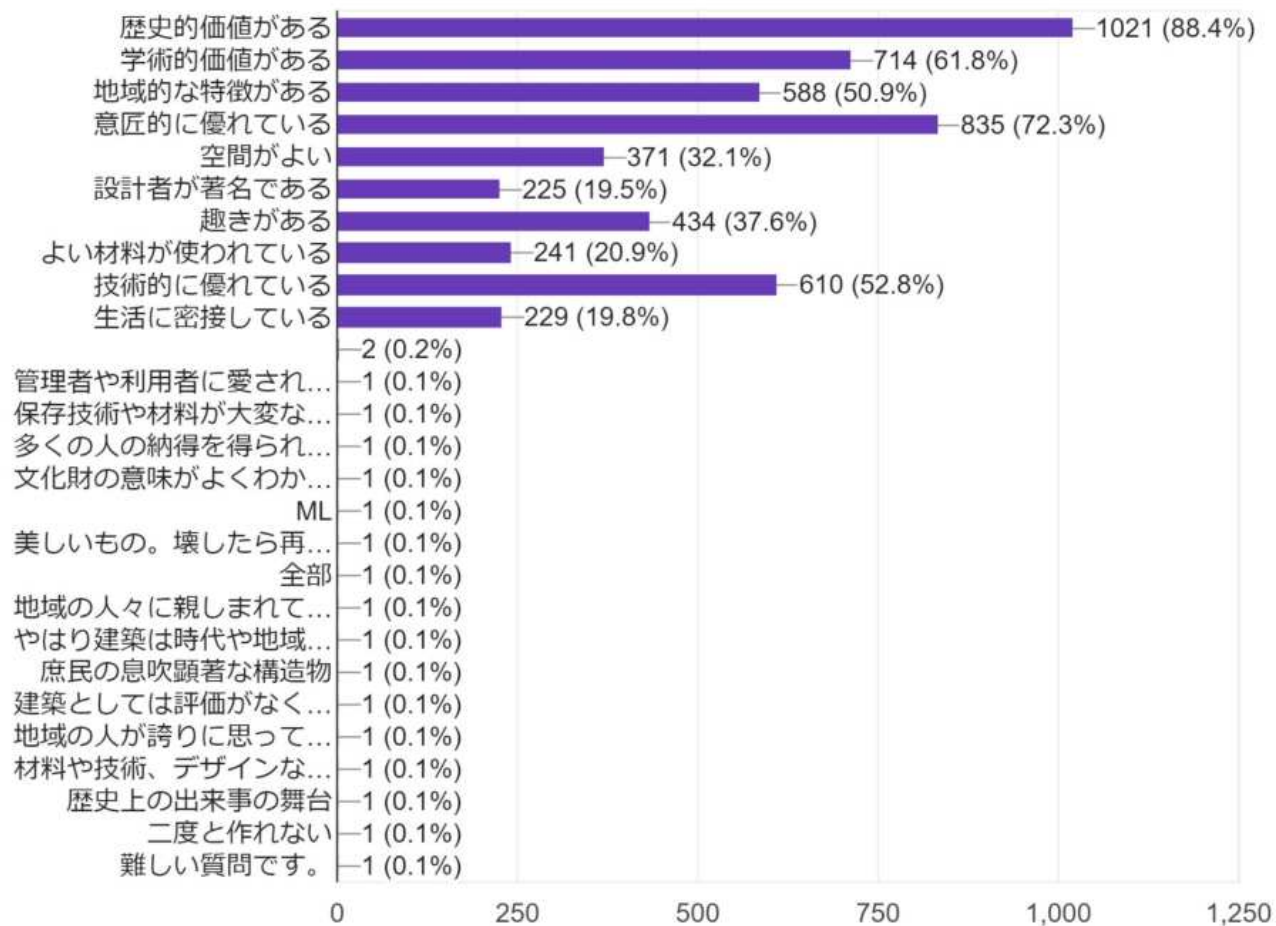
参加者アンケート [回答数1,170]

文化財であるかどうかは、足を運ぶ動機や決め手になりますか？



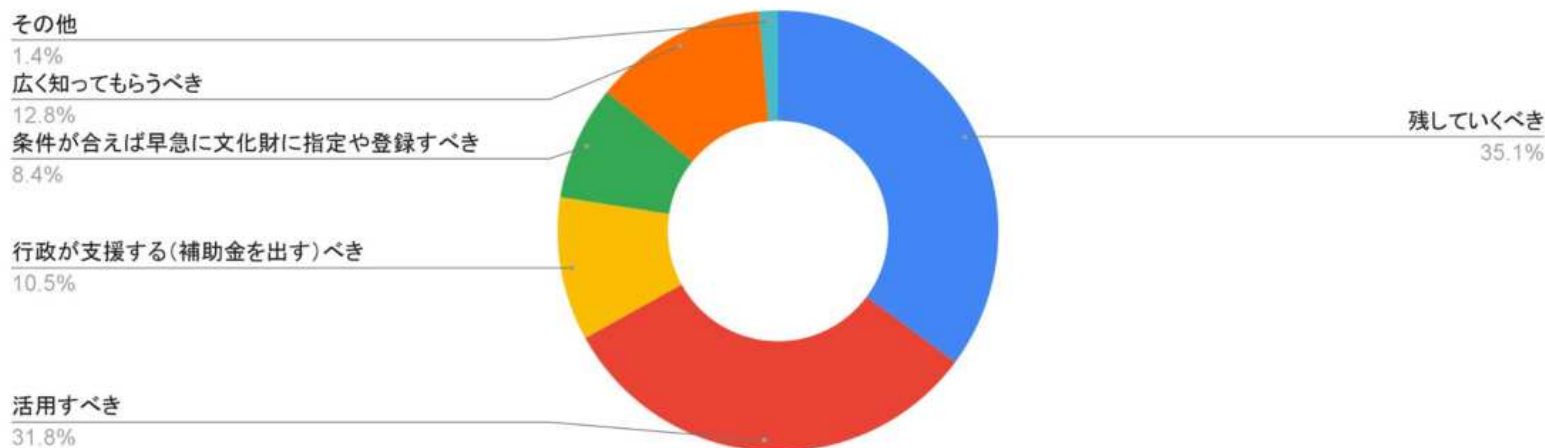
参加者アンケート[回答数1,170]

どのような建物が文化財に選定・登録されるべきだと思いますか？

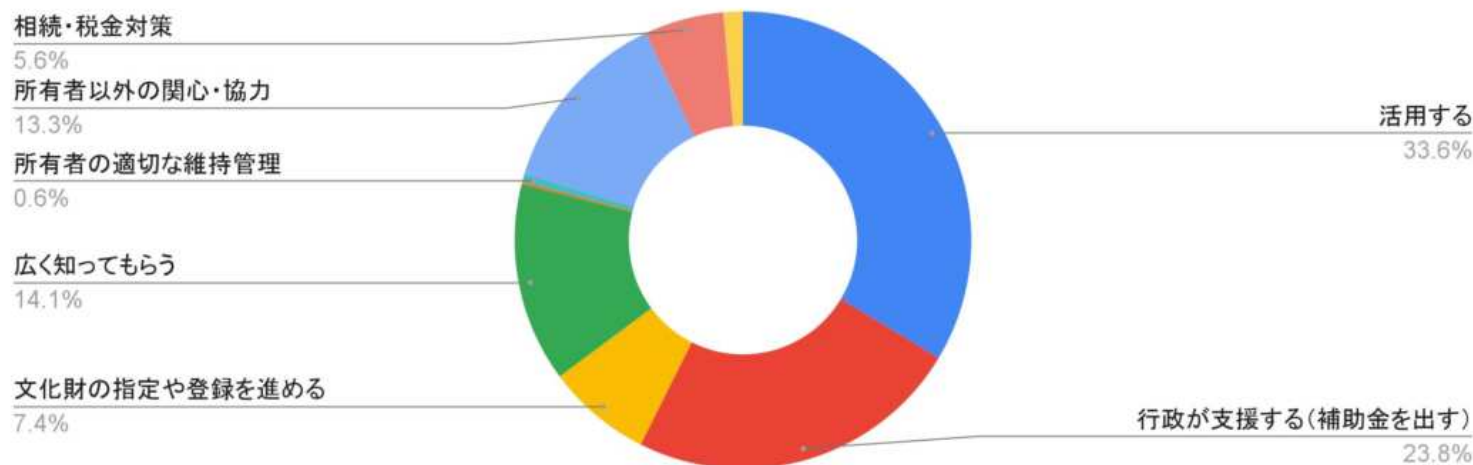


参加者アンケート [回答数1,170]

文化財には指定されていないが、意匠的に優れているといった建物について、どう思いますか？

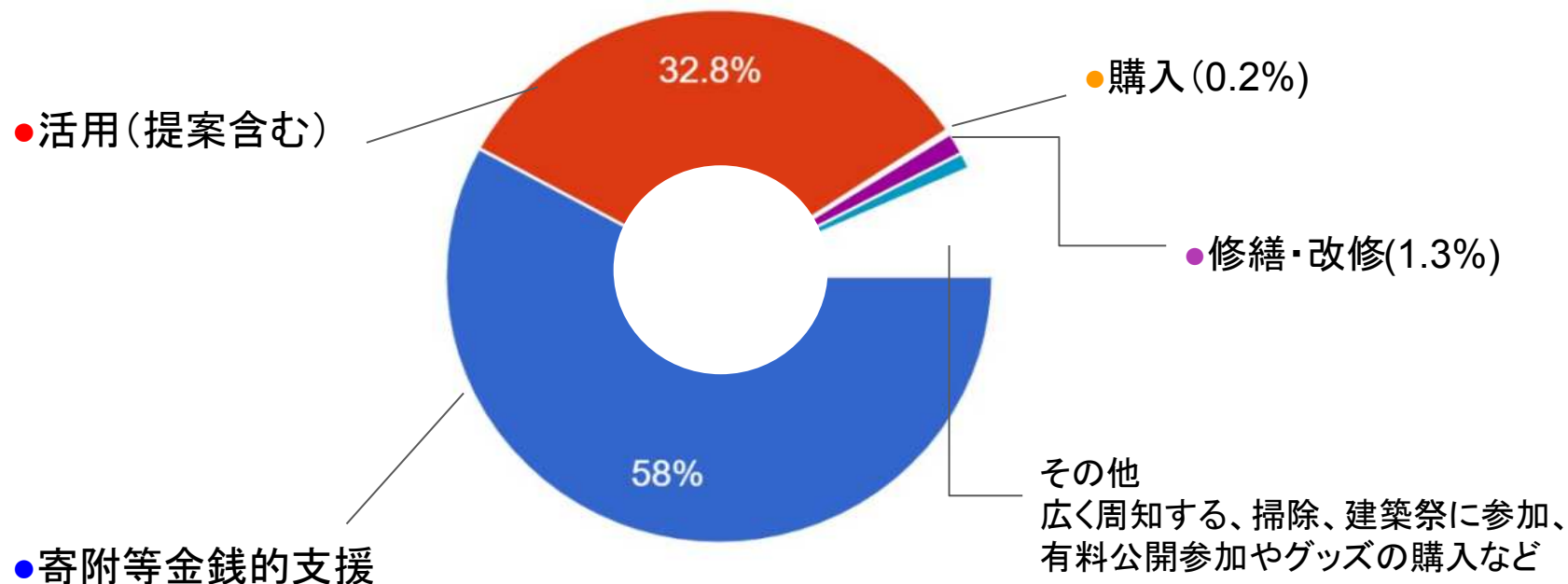


歴史的建物を後世に残すために、どのような取組が必要だと思いますか？



参加者アンケート[回答数1,170]

歴史的建造物に対し、あなたができそうな支援はどのようなものですか

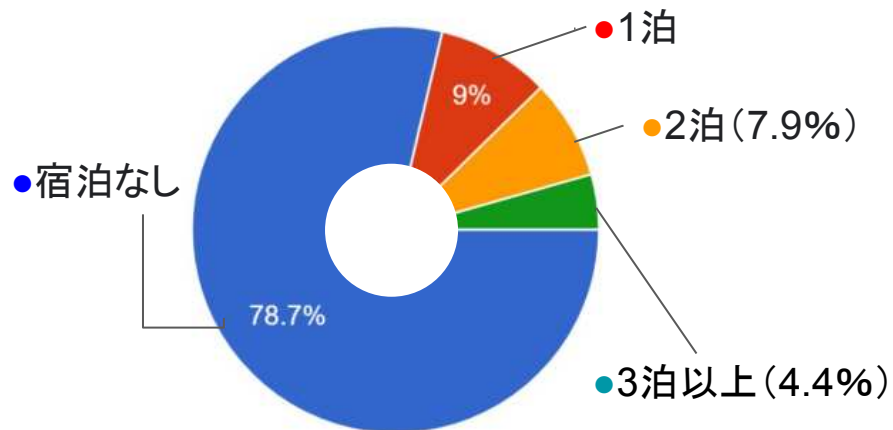


■寄附文化の醸成へ

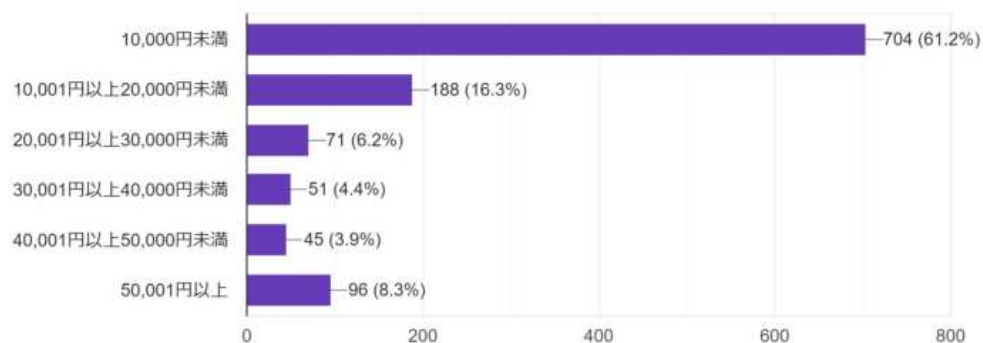
歴史的建造物や文化遺産への支援として「寄附等金銭的支援」を選択した人が約6割近くにのぼった。今年の京都モダン建築祭では、パスポート公開や特別ツアー見学に協力した参加建築に対し、建物保全の協力金として総額約500万円を支払った(22年実績100万円)※。また、一部の建築では募金箱を設置するなど支援を呼びかけ、参加者の関心は高かったとの声もある。一般の人がより気軽に金銭的支援がしやすい仕組みやサービス化等、文化財保存の一助となる取り組みに努めていきたい。※一部の辞退建築を除く。

参加者アンケート [回答数1,170]

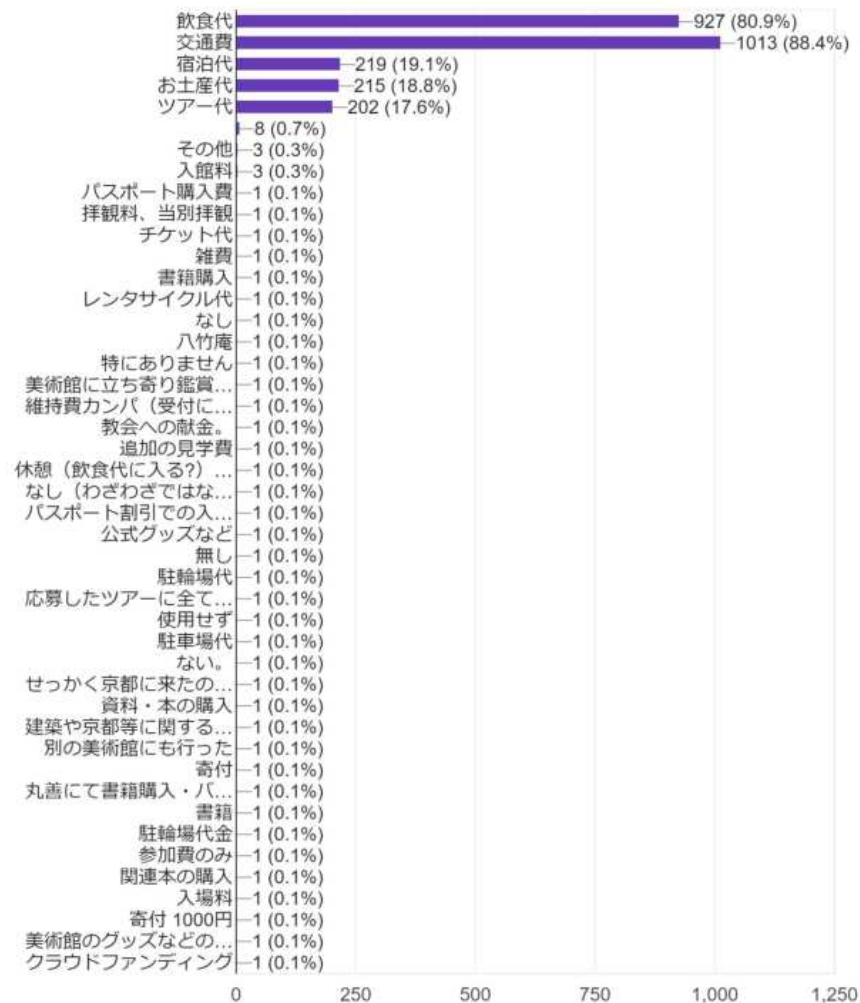
建築祭での宿泊の有無



建築祭に伴い使用した費用を教えてください。 (ご家族などでご参加された方は一人当たりの単価)

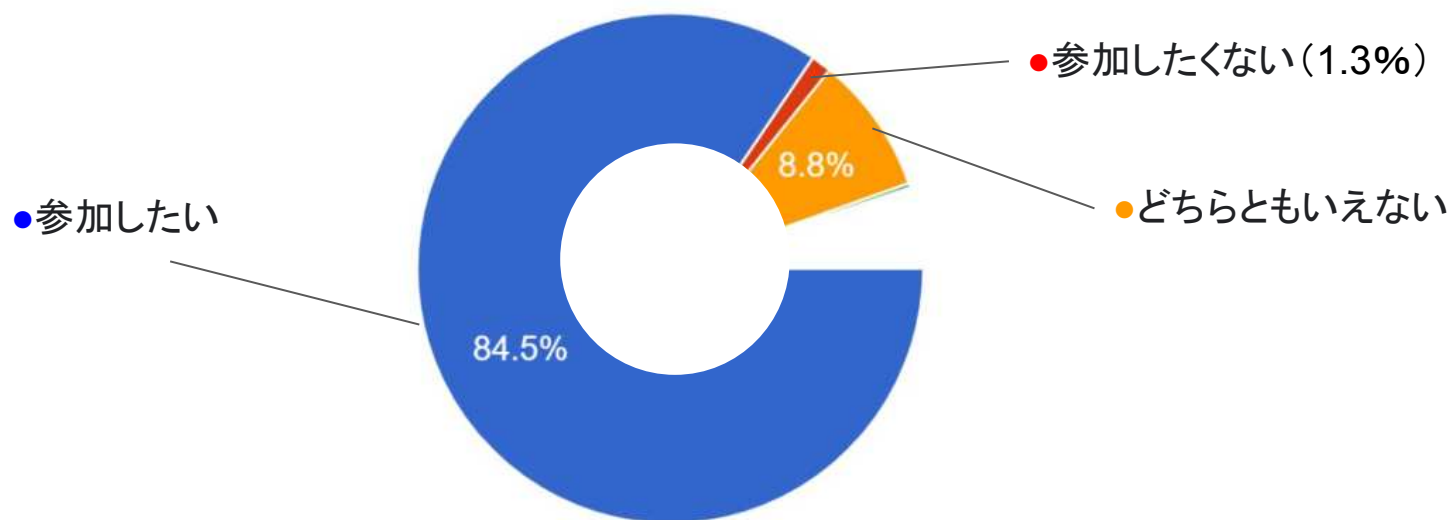


建築祭に伴い使用した費用の内訳 (パスポート代含まず)



「参加建築」へのアンケート[回答数18]

来年の参加意向をお聞かせください。

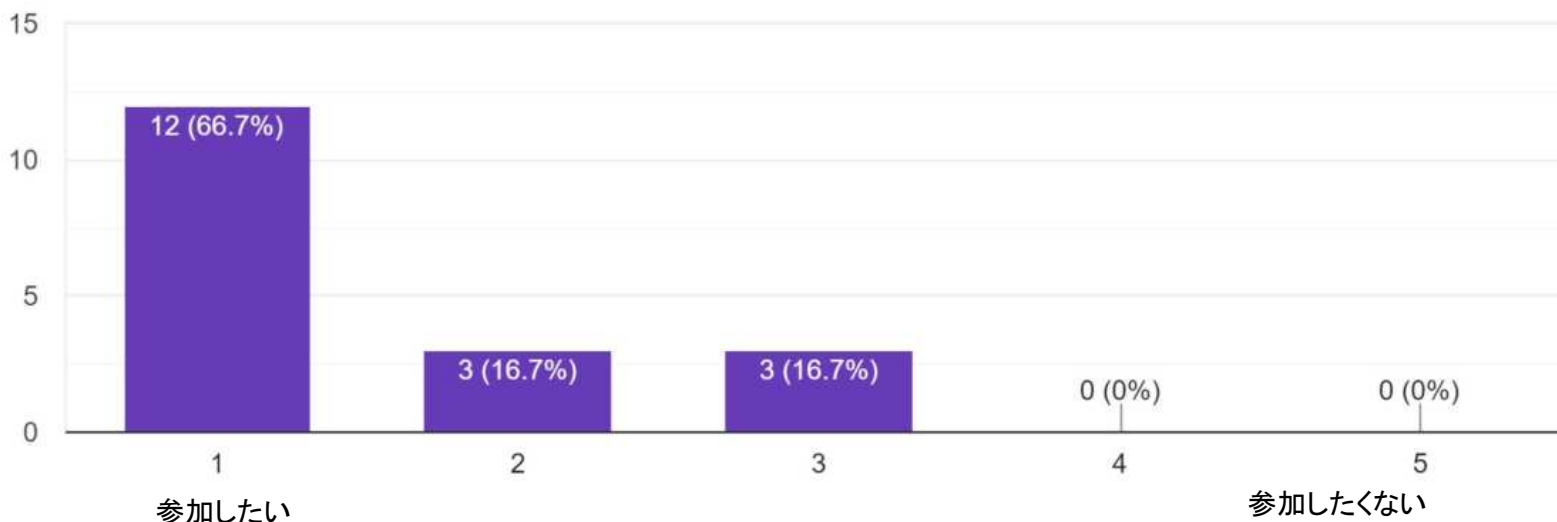


■京都の新たな魅力を発信

参加建築数79件。うちパスポート公開は51件と、昨年21件から大幅に増えた。特別ツアーでのみ公開の建築が16件。連携企画のみの参加が8件。特別ツアー・連携企画で参加の建築が4件。公共建築、有名建築、著名建築家の建築のほか、設計者不詳や地元工務店による個人住宅や店舗、現住の団地や営業中の銀行が公開されたことも今年のエポックと言える。小さな個々の建物を含め、歴史的建造物が今も生きた建築として都市の営みを豊かに彩る京都らしい内容となった。アンケートには「寺社仏閣や観光名所以外の京都を発見できた」「知らなかった良さに気づけた」等の声もあり、京都の新たな魅力の発信が成功していると考えられる。

「参加建築」へのアンケート[回答数18]

来年の参加意向をお聞かせください。



上記理由一部抜粋)

1(参加したい)理由

- ・文化財の社会的発信になるため。継続した取り組みに期待している。
- ・継続した取り組みに期待しているため。修理事業等が来年も予定されており、引き続き関連企画とした取り組みを実施したいと思っている。
- ・建築的価値を知っていただくいい機会になるため。店舗の周知になるため。
- ・古い家は動かす事で生きている感じがします。
- ・一般公開により施設及び大学のブランディングに貢献できる

2、3の理由

個人的には1だが、個人の一存では決めかねるため。
事前の掃除が結構大変だったので。

「参加建築」へのアンケート[回答数18]

参加してよかった点

- ・多くの方に当建物を知ってもらえてよかったです。
- ・モダン建築祭の参加者の方が、弁当のご予約、カフェ利用などにつながり反響を感じました。
特別ツアーでは沢山の応募があったと聞きありがたいです。
参加者の方々もとても熱心に見学しておられ建物好きの方はまだまだいらっしゃるのだらうな と 沼の深さを感じました。
- ・自分たちの働く建物に、多くのお客さまが興味をもってくださいすることは スタッフにも刺激になりますし、大切な建造物であるという再認識 にもつながりました。
- ・多くの方に当建物にお越しいただく機会をいただいた点。
内部でも気付かなかった 自建築の良さを認識させていただいた点。
関連企画を広報いただけました点。
- ・当建築におけるモダン建築の特徴と知識、建築物の新しい魅力などを習得することができた点。
当日の見学者の方々が非常に熱心に興味深く見学されている姿に接し感動。
建物の良さを体感していただく機会となり大変良かったです。

「参加建築」へのアンケート[回答数18]

改善点・お気づきの点

- ・こちら側の反省点ですが、展示物に解説等を添えた方が来館の方々に親切であったかなと思いました
- ・面白いイベントなので是非継続してほしい！我々参加する側も参加費をいくばくか支払うというのも一つなのかなと。我々も余裕があるわけではないので微々たるものでも協力できたらと思います。
- ・点ではなく、群として公開できれば、さらに来場者は増えると考えます。調整が非常に大変だとは思いますが。登録文化財になっている建物を外側から見るのは自由なので、どこにそうした建物があるかをマップに書き込んでもらえば足を運んでもらえるように思う。
- ・自転車利用も需要ある。駐輪スペースのない建物も多いと思うので建築祭 HPに駐輪場マップを入れてみては。
- ・付き添いが必要なレベルの障害をお持ちの方の参加について 募集の際、バリアフリーではなく、階段等歩きにくい場所があること、車椅子、杖を使用時の見学が難しいこと、当方では介助等の対応ができないこと、それでも見たい方は付添人をつけていただくことを明記する必要があるかと思いません。

「参加建築」へのアンケート[回答数18]

改善点・お気づきの点

- ・結構大きなリュックの方が散見されました。注意書きでお願い出来ればと思います。
- ・参加建築が多すぎるため、建築祭ウェブサイトにもプルダウンメニュー等を配して参加者が各建築物の紹介を検索しやすくしてほしい
- ・お風呂場は公開していなかったのですが、参加者の方が「お風呂はどうされていたのか」と質問があり、お風呂場に案内すると他の方も興味を持たれ、こんなので喜んでもらえるのかと思いました。自分では喜んでもらえるポイントがわからないので、事前にどこが見せ場になるのかアドバイスをもらえると良いと思いました。
- ・盛りだくさんでまわり切れないとお声を聞きました(特にご遠方の方)
- ・もうワンサイズ小さいポスターがあればありがたかった

寄せられた声① [抜粋 / 回答数 1170]

企画・主旨

- ・実際の建物の中に入り間近で見え感じられる貴重な機会

文化財保全・活用

- ・現住や営業が続く個人宅・商店も公開していただき感謝
- ・文化財保護や建物維持の支援に還元していけるとよい
- ・公開してくれたら固定資産税を軽減するなど行政と連携できれば。
- ・建築祭に収益が出て基金となり近代建築の保存や活用に永く活かされていく循環になることを願う。少しでも建築の保存に役に立つのなら嬉しいと思いながら参加。来年も楽しみ。

新たな京都

- ・寺社以外の京都の文化に触れることができた
- ・近代～現代までの建物を網羅していた
- ・非常に活気があった。
- ・母校が含まれていることを知り参加

開催エリア

- ・建物公開エリアが増え、地域ごとの特色を感じる事ができた。
- ・前回より公開された数が増え機会が広がった。
- ・効率よく廻ることができなかった。行ける日には、行きたい場所が公開されていないなど。

日程

- ・昨年より長くなりゆとりを持って時間を気にせず回れた
- ・公開日程がわかりにくい(一斉公開日)
- ・観光シーズンは避けてほしい、ホテルが最高値。
- ・平日もあってよかった
- ・行きたかった建築が平日しかなく行けなかった
- ・時間が5時までやっていてたくさんまわられた。

参加費・パスポート

- ・U29パスポートでお得にたくさん回れてよかった。
- ・チケットの交換場所を増やして欲しい
- ・ネットで買ったチケットをリアルチケットにする制度を改めてほしい。
- ・パスポートを交換する場所がよくわからなかった
- ・チケット代/ツアー代が高い。開催期間が長すぎて建築ごとの日程が散らばりすぎている。
- ・低価格でたくさん回れてお得感があった
- ・1DAYパスポートでも各建築でチケットを引き換えて欲しかった
- ・年齢的にもスマホがうまく使いこなせなくて行き詰まることもあり、ほかの方法も考えていただけたら有り難いです
- ・無料公開の他都市イベントと比べると割高

寄せられた声② [抜粋 / 回答数 1170]

パスポート公開

- ・ふだん見れない貴重な建物を見学できた。楽しめた。
- ・ずっと気になっていた建物に入れた
- ・普段入れても行ったことのなかった建物(教会等)に、入る貴重なきっかけとなり、とても楽しかった。
- ・もう少し機会を増やす方法を検討していただきたい
- ・事前予約teketはキャンセル機能がなく使いづらかった
- ・地元に住みながらも知らなかった建築物を知る事ができた。

特別ツアー

- ・熱意をもって解説してくれ勉強になった。
- ・ツアー、予約見学になかなか当たらなかった。
- ・県外からの参加は、宿泊先の手配が必要なので、特別ツアーの予約をもう少し早めに開始してほしい。(できれば3ヶ月前くらい)
- ・ガイドされている方が優先ですというだけの説明で自由に入れない場所があり動きにくかった。
- ・事前予約で落ちたので、同じ建物をもう一回して欲しい。

当日ミニツアー(文化財マネージャー)

- ・説明がとてもわかりやすくおもしろかった。
- ・解説を聞きながらの町歩きは、大変興味深かった。
- ・当日参加可のツアーがあってよかった。もっと開催を

連携企画

- ・割引きやノベルティ(缶バッジなど)が貰えて嬉しかった。
- ・連携企画をしている建物にも今回のポスターを貼って欲しかった。
- ・特典をお店の人がわかっていないケースがある。改善してほしい。
- ・普段入ることのない飲食店で食事をする事ができた。

公開建築での応接・運営

- ・スタッフの皆さんのご努力と公開建物側の度量がすばらしい。
- ・他県からの参加で土地勘が全くないので、モデルコースなど事前に示していただけたら良かった
- ・その建築の関係者の方から直接お話を聞け、見るだけでなく解説がある場所はとてもよかった。
- ・普段は公開していない建築や部屋を特別にみることができ、モダン建築の価値をより深く知るきっかけとなった。大変良い機会であった。
- ・その建物を調査された方が案内してくださったこと
- ・衣笠山の家は現在住居されているのに公開していただけたこと。
- ・元成徳中学では写真撮影が可能だった事。
- ・一部の建物(元成徳中学校など)で配布されていたような、建物の歴史や特徴などが記載された簡単なパンフレットのものが各建物で配布されると更に楽しめる。
- ・広い敷地の場合どのあたりから入場できるか明示
- ・公開箇所の情報がもっとほしい。
- ・色々回ろうと思うと、自転車やバイクなのですが、置き場があっても置かして貰えない箇所が何カ所もあり、残念でした。
- ・町屋など個人のお宅と思われるところに入れていただいたこと。町屋の奥があんなふうになっていることをはじめて知った。
- ・建築・施設の人が見学者を大変温かく迎えてくださり、建築の説明を詳細に伺うことができ、とても嬉しい体験だった
- ・オーナーさんのお話を聞かせていただいたのが良かった
- ・教会でオルガンを演奏して下さって感激

寄せられた声③ [抜粋 / 回答数 1170]

オーディオガイド

- ・行けないところも行った気になりよかったが短い
- ・オーディオガイドを活用し、予習できた。
- ・自分のペースで見学できた
- ・復習にもなりよかった
- ・Webで無料公開されていたのもよかった。
- ・オーディオアプリが使いづらく、内容がいいだけに残念。
- ・公開場所と公開日時の把握に時間がかかり、パンフレットと地図アプリと格闘していました。日時や条件(駐輪場有無など)でフィルターがかけができる、自分でカスタマイズできる地図付きのアプリのようなものがあればと感じました。パスポートもアプリで表示できるとありがたい。

ウェブ・パンフ・SNS・アプリ

- ・ガイドブックがエリア別にまとめられており回りやすかった。見やすかった。
- ・ネット上での予約、抽選なども分かりやすくスムーズでした。
- ・変更情報や開館場所、時間が X で通知される場所。
- ・混雑状況を X オンリーで知らせるのはやめてほしい
- ・言葉の意味がわかりにくい。
- ・パスポートの購入と引き換えが面倒なので、ガイドブックを充実させてパスポート付きで販売されては？
- ・BS朝日で大丸ヴィラ見れてよかった。非公開のところが今後あのように映像でみせて欲しい
- ・ガイドブックはよくできていたが、実地での入口などがわかりにくい。事前に公開されていたら計画を立てやすかったと思う。
- ・事前のYouTube配信が分かりやすくて良かった
- ・参加建築マップのおかげで、効率良く、気になっていた場所について、深く知ることができて、良かった。

写真撮影

- ・写真撮影可・SNS投稿可の建築が多くて嬉しかった
- ・撮影マナーがよくない人が多く気になった
- ・撮影禁止の建物で撮影している人がいたので、パスポート確認時に撮影禁止だと言うべき。建物の柱や壁にもたれたり、備品に触ったりしている人も見たので、鑑賞時のマナーをもっと周知させてほしい。
- ・写真撮影ができないなら配布資料がほしい

スタッフ

- ・スタッフが丁寧に説明してくれた。笑顔、親切、ホスピタリティ
- ・気さくで知識もあり、話しやすかった(簡単なことでも参考になった)
- ・スタッフとの会話が楽しかった。
- ・受付ボランティアの知識の無さ、スタッフの無自覚失礼さ。
- ・スタッフの方がずっとお喋りされていた
- ・対応にバラツキがあった点
- ・どの場所でも温かく迎えてくださいました。

プログラム概要:開催エリア



◎開催エリア(全 9エリア)

- 中京
 - 御所西
 - 岡崎
 - 京都駅・七条★
 - 河原町・五条★
 - 北大路★
 - 衣笠・北野★
 - 西陣★
 - その他
- (★は2023年新エリア)

プログラム概要

◎パスポート公開

普段は一般公開されていない建物・施設が所有者・関係者の厚意と協力で特別に公開されました。建築祭パスポートまたは1DAYパスで見学できます。



◎ガイドツアー

オーナーや管理者、建築や各分野の専門家、地域の関係者、学生など、さまざまな人にツアーガイドとして案内いただきました。



◎特別イベント

トークイベントや教育的プログラム等、モダン建築と京都モダン建築祭について理解を深め、意義や展望を拡張する方向に向かう発見的プログラムです。



◎連携企画

建築祭をより楽しむためのさまざまなプログラム。飲食店等での建築祭パスポート特典や独自企画等、多様なパートナーと連携した企画です。



[中京エリア]

パスポート公開 6件
ガイドツアー
連携企画 1件

[西陣エリア]

パスポート公開 6件
ガイドツアー
連携企画 1件

[衣笠・北野エリア]

パスポート公開 6件
ガイドツアー
連携企画

[京都駅・七条エリア]

パスポート公開 6件
ガイドツアー
連携企画 1件

[その他エリア]

パスポート公開 件
ガイドツアー
連携企画 件

[御所西エリア]

パスポート公開 6件
ガイドツアー
連携企画 1件

[北大路エリア]

パスポート公開 3件
ガイドツアー
連携企画 1件

[岡崎エリア]

パスポート公開 7件
ガイドツアー
連携企画

[河原町・五条エリア]

パスポート公開 1件
ガイドツアー
連携企画 3件

パスポート公開

エリア	番号	施設名	11/2(木)				11/3(金・祝)				11/4(土)				11/10(金)				11/11(土)				11/12(日)				
			10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	
中京・御所西	1	郭巨山会所		13:00-17:00				10:00-13:45	15:00-15:45	10:00-17:00																	
	2	カトリック河原町教会	10:00-17:00				10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00											
	3	旧寺江家住宅店舗及び母屋	10:00-17:00				10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00						10:00-17:00					
	4	京都御幸町教会	10:00-15:00				10:00-15:00			10:00-17:00			10:00-15:00			10:00-12:00											
	5	京都市役所本庁舎	10:00-17:00				10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00						10:00-17:00					
	6	京都府立医科大学 本部棟(旧附属図書館)																					10:00-16:30				
	7	島津製作所 創業記念資料館					10:00-17:00(最終入館16:30)			10:00-17:00(最終入館16:30)							10:00-17:00(最終入館16:30)					10:00-17:00(最終入館16:30)					
	8	TSUGU 京都三條 by THE SHARE HOTELS (旧日本生命京都三條ビル)													11:00-14:00			11:00-14:00									
	9	フォーチュンガーデン京都 (島津製作所河原町旧本社)													10:00-17:00												
	10	毎日新聞京都ビル																					10:00-17:00				
	11	元成徳中学校	10:00-17:00				10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00						10:00-17:00					
	12	京都府庁旧本館	10:00-17:00												10:00-17:00			13:00-17:00 ※旧議場の公開はありません。					13:00-17:00 ※旧議場の公開はありません。				
	13	聖アグネス教会																10:00-17:00					13:00-17:00				
	14	平安女学院大学 有栖川宮旧邸 有栖館																10:00-17:00					13:00-17:00				
	15	平安女学院大学 明治館																10:00-17:00					13:00-17:00				
西陣	16	京都市考古資料館(旧西陣織物館)	10:00-16:30				10:00-16:30			10:00-16:30																	
	17	be京都	10:00-15:00																								
	18	元西陣小学校	10:00-17:00							10:00-17:00																	
北大路	19	京都復活教会												10:00-16:00			10:00-16:00					13:00-16:00					
	20	紫明会館					10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00			10:00-17:00						10:00-17:00					
	21	日本福音ルーテル賀茂川教会					10:00-16:00			10:00-16:00			10:00-16:00			10:00-16:00											
衣笠・北野	22	櫻谷文庫(旧木島櫻谷家住宅)	10:00-17:00(最終入館16:00)				10:00-17:00(最終入館16:00)				10:00-17:00(最終入館16:00)																
	23	衣笠会館(旧藤村岩次郎邸)	11:00-16:00				11:00-16:00			11:00-16:00																	
	24	京都信用金庫 北野支店	10:00-15:00																								
	25	立命館大学衣笠キャンパス 以学館・末川記念会館								10:00-17:00																	
岡崎	26	京都国立近代美術館												10:00-17:00			10:00-17:00					10:00-17:00					

パスポート公開

エリア	番号	施設名	11/2(木)				11/3(金・祝)				11/4(土)				11/10(金)				11/11(土)				11/12(日)			
			10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00
岡崎	27	京都市京セラ美術館(京都市美術館)	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00											
	28	京都市武道センター(旧武徳殿)	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00											
	29	京都府立図書館	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00			
	30	時忘舎(旧竹中精妻所)	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00			
	31	平安神宮	10:00-16:00				10:00-16:00				10:00-16:00				10:00-16:00				10:00-16:00				10:00-16:00			
京都駅・七条	32	顕道会館	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00			
	33	東本願寺視聴覚ホール	10:00-16:00※ ※10:10-10:45、13:10-13:45に法話が行われる場合、ホール内の自由見学は不可				10:00-16:00※				10:00-16:00※				10:00-16:00※				10:00-16:00※				10:00-16:00※			
	34	本願寺伝道院	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00			
	35	元淳風小学校	10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00				10:00-17:00			
	36	龍谷大学大宮学舎					10:00-17:00(最終入館16:30)				10:00-17:00(最終入館16:30)															
その他	37	京都大学 尊徳堂																	11:00-16:00				11:00-16:00			
	38	国立京都国際会館									10:00-17:00												10:00-17:00 ※公開箇所が時間によって異なります			

要予約のパスポート公開スケジュール

エリア	番号	施設名	11/2(木)				11/3(金・祝)				11/4(土)				11/10(金)				11/11(土)				11/12(日)			
			10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00	10:00	12:00	14:00	16:00
中京・御所西	A	郭巨山会所							14:00-	16:00-																
	B	革島医院													10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00	10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00	10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00									
	C	今原町家					10:30 / 11:00 / 11:30 / 14:00 / 14:30 / 15:00	10:30 / 11:00 / 11:30 / 14:00 / 14:30 / 15:00																		
	D	京都府住宅供給公社 堀川団地									10:00 / 11:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00															
西陣	E	OTA.lab(旧太田機業店)					10:00 / 10:30 / 11:00 / 11:30 / 12:00 / 12:30	10:00 / 10:30 / 11:00 / 11:30 / 12:00 / 12:30																		
	F	藤田家住宅					10:00 / 11:00 / 12:00	10:00 / 11:00 / 12:00																		
	G	船岡温泉	10:00 / 11:00 / 12:00				11:00 / 12:00	10:00 / 11:00 / 12:00																		
女京・北野	H	衣笠山の家(小林邸)					10:00 / 11:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00																			
	I	旧堂本印象邸					10:15 / 10:45 / 11:15 / 11:45 / 12:15 / 12:45 / 13:15 / 13:45 / 14:15 / 14:45 / 15:15 / 15:45 / 16:15	10:15 / 11:15 / 12:15 / 13:15 / 14:15 / 15:15																		
岡崎	J	関西美術館	10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00				10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00	10:00 / 11:00									13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00									
京都駅・七条	K	東本願寺 鐘樓(修理現場見学会)													13:00 / 13:45 / 14:30 / 15:15				13:00 / 13:45 / 14:30 / 15:15							
河原町・五条	L	丸福樓(任天堂旧本社社屋)	※丸福樓(任天堂旧本社社屋)の公開日時は、11月8日(水)、11月9日(木)13:30 / 14:30																							
その他	M	京都信用金庫 北山支店	11:00-11:15	14:00-14:15											11:00-11:15	14:00-14:15										
	N	京都大学 東南アジア地域研究研究所図書室(旧京都織物株式会社本社事務棟)									10:00-11:00頃	13:00-14:00頃	14:00-15:00頃													

パスポート公開 中京エリア① 12件／51件

【中京エリア】

郭巨山会所、カトリック河原町教会、革島医院、旧寺江家住宅店舗及び母屋、京都御幸町教会、京都市役所本庁舎、京都府立医科大学 本部棟(旧附属図書館)、島津製作所 創業記念資料館、TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS(旧日本生命京都三条ビル)、フォーチュンガーデン京都(島津製作所河原町旧本社)、毎日新聞京都ビル、元成徳中学校、



郭巨山会所



カトリック河原町教会



革島医院



旧寺江家住宅店舗及び母屋



京都市役所本庁舎



京都府立医科大学 本部棟
(旧附属図書館)



島津製作所 創業記念資料館



京都御幸町教会

パスポート公開 中京エリア② 12件／51件

【中京エリア】

郭巨山会所、カトリック河原町教会、革島医院、旧寺江家住宅店舗及び母屋、京都御幸町教会、京都市役所本庁舎、京都府立医科大学 本部棟(旧附属図書館)、島津製作所 創業記念資料館、TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS(旧日本生命京都三条ビル)、フォーチュンガーデン京都(島津製作所河原町旧本社)、毎日新聞京都ビル、元成徳中学校



TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS
(旧日本生命京都三条ビル)



毎日新聞京都ビル



元成徳中学校



フォーチュンガーデン京都
(島津製作所河原町旧本社)



パスポート公開 御所西エリア 6件／51件

[御所西エリア]

今原町家、京都府住宅供給公社堀川団地、京都府庁旧本館、聖アグネス教会、平安女学院大学 有栖川宮旧邸 有栖館、平安女学院大学 明治館



今原町家



京都府住宅供給公社堀川団地



平安女学院大学



京都府庁旧本館



聖アグネス教会



有栖川宮旧邸 有栖館



明治館

パスポート公開 西陣エリア 6件／51件

[西陣エリア]

OTA.lab(旧太田機業店)、京都市考古資料館(旧西陣織物館)、 be京都、藤田家住宅、船岡温泉、元西陣小学校



OTA.lab(旧太田機業店)



be京都



船岡温泉



京都市考古資料館(旧西陣織物館)



藤田家住宅



元西陣小学校

パスポート公開 北大路エリア 3件／51件

[北大路エリア]

京都復活教会、紫明会館、日本福音ルーテル賀茂川教会



京都復活教会

紫明会館

日本福音ルーテル賀茂川教会

パスポート公開 衣笠・北野エリア 6件／51件

【衣笠・北野エリア】

櫻谷文庫(旧木島櫻谷家住宅)、衣笠会館(旧藤村岩次郎邸)、衣笠山の家(小林邸)、旧堂本印象邸、京都信用金庫北野支店、立命館大学衣笠キャンパス 以学館・末川記念会館、



櫻谷文庫(旧木島櫻谷家住宅)



衣笠会館(旧藤村岩次郎邸)



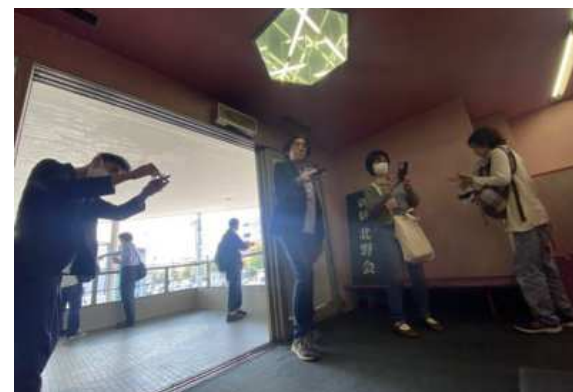
衣笠山の家(小林邸)



旧堂本印象邸



立命館大学衣笠キャンパス 以学館・末川記念会館



京都信用金庫北野支店

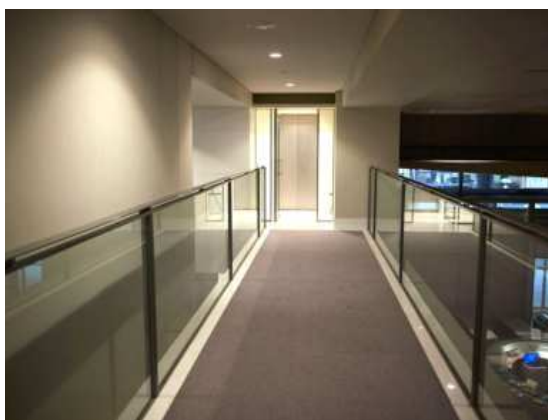
パスポート公開 岡崎エリア 7件／51件

[岡崎エリア]

関西美術院、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館(京都市美術館)、京都市武道センター(旧武徳殿)、京都府立図書館、時忘舎(旧竹中精麦所)、平安神宮



関西美術院



京都国立近代美術館



京都市京セラ美術館(京都市美術館)



京都市武道センター(旧武徳殿)



京都府立図書館



時忘舎(旧竹中精麦所)



平安神宮

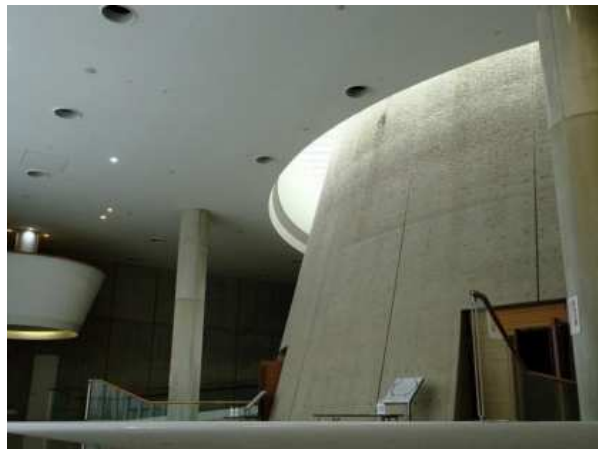
パスポート公開 京都駅・七条エリア 5件／51件

[京都駅・七条エリア]

顕道会館(浄土真宗本願寺派京都教区教務所)、東本願寺視聴覚ホール(新参拝接待所)、本願寺伝道院、元淳風小学校、龍谷大学大宮学舎、



顕道会館(浄土真宗本願寺派京都教区教務所)



東本願寺視聴覚ホール(新参拝接待所)



本願寺伝道院



元淳風小学校



龍谷大学大宮学舎



パスポート公開 河原町・五条、その他 5件／51件

[河原町・五条エリア] 丸福樓(任天堂旧本社社屋)

[その他エリア] 京都信用金庫北山支店、京都大学尊攘堂、京都大学東南アジア地域研究研究所図書室(旧京都織物株式会社本社事務棟)、国立京都国際会館



丸福樓(任天堂旧本社社屋)



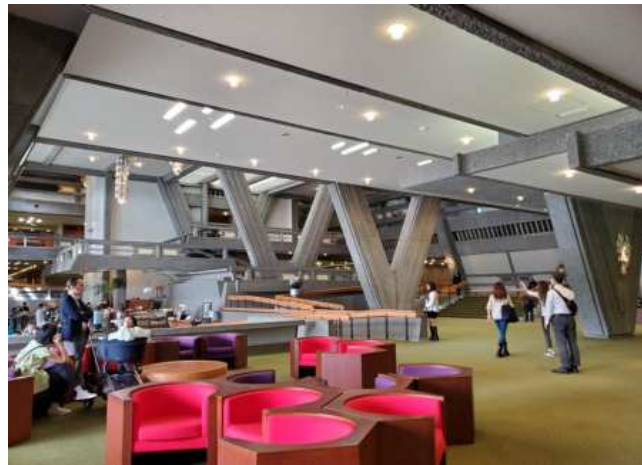
京都信用金庫北山支店



京都大学尊攘堂



京都大学東南アジア地域研究研究所図書室



国立京都国際会館

ガイドツアー 39コース 52回

エリア	日時	ガイド	コース名
特別ツアー(有料、要予約)			
中京・御所西	11/2(木)	二村盛幸さん	ハリストス正教会・御幸町教会ツアー
	11/2(木)4(土)	築正康さん	三条通モダン建築めぐり
	11/3(金・祝)	笠原一人さん	ハリストス正教会・御幸町教会ツアー
	11/5(日)	倉方俊輔さん	元明倫小学校(京都芸術センター)ツアー
	11/6(月)	倉方俊輔さん	先斗町歌舞練場ツアー
	11/8(水)	倉方俊輔さん	エースホテル京都ツアー(ランチ付き)
	11/9(木)	前田尚武さん	島津製作所 創業記念資料館・フォーチュンガーデン京都ツアー
	11/11(土)	吉田純さん・武村純一さん	京都市役所本庁舎ツアー
	11/11(土)	笠原一人さん	中京モダン建築めぐり
	11/2(木)3(金・祝) 11(土)12(日)	大丸ヴィラさん	大丸ヴィラツアー
	11/5(日)	生川慶一郎さん	堀川団地・堀川新文化ビルディングツアー
	11/11(土)	二村盛幸さん	聖アグネス教会・明治館・有栖川宮旧邸ツアー
	11/11(土)	冨家裕久さん	今原町家・西陣町家めぐり
	11/12(日)	円満宇洋介さん	御所西モダン建築めぐり
	11/10(金)	石川祐一さん	文化庁・御所西モダン建築めぐり
西陣	11/3(金・祝)	石川祐一さん	船岡温泉・船岡山建築めぐり
	11/3(金・祝)	石川祐一さん	藤田家住宅・be京都ツアー
北大路	11/10(金)	石川祐一さん	復活教会・ルーテル賀茂川教会ツアー
	11/10(金)	永松尚さん	復活教会・ルーテル賀茂川教会ツアー
	11/11(土)	円満宇洋介さん	復活教会・ルーテル賀茂川教会・紫明会館ツアー
衣笠・北野	11/3(金・祝)	笠原一人さん	旧本野精吾邸・櫻谷文庫ツアー
	11/4(土)	二村盛幸さん	櫻谷文庫・衣笠会館ツアー
岡崎	11/12(日)	円満宇洋介さん	岡崎モダン建築めぐり
京都駅・七条	11/2(木)	前田尚武さん	京都駅ビルツアー
	11/4(土)	倉方俊輔さん	伝道院・顕道会館・七条モダン建築めぐり
	11/4(土)	大江覚成さん	東本願寺境内地ツアー
	11/4(土)	円満宇洋介さん	伝道院・顕道会館・七条モダン建築めぐり
	11/10(金)	倉方俊輔さん	京都駅ビル徹底探検ツアー
	11/10(金)	倉方俊輔さん	京都駅前ポストモダン建築めぐり
河原町・五条	11/7(火)	福永貴之さん・于修海さん	東華菜館ツアー(ランチ付き)
	11/9(木)10(金)	今井香子さん	フランチア喫茶室ツアー(特製モーニング付き)
その他	11/5(日)	花山天文台さん	京都大学花山天文台ツアー
	11/5(日)	谷川次郎さん・石川祐一さん	茂庵・静閑亭・田舎席・谷川住宅ツアー
	11/5(日)	笠原一人さん	武田薬品京都薬用植物園・関西セミナーハウスツアー
	11/5(日)	石川祐一さん	駒井家住宅・山口書店ツアー
	11/6(月)	ザ・ホテル青龍 京都清水さん	ザ・ホテル青龍ツアー(ランチ付き)
	11/7(火)	ザ・プリンス 京都宝ヶ池さん	ザ・プリンス 京都宝ヶ池ツアー(ランチ付き)
	11/7(火)	笠原一人さん	聖母女学院・カトリック伏見教会ツアー
	11/12(日)	冨家裕久さん	京都大学モダン建築めぐり

総数 39コース52回

参加者数 977人 / 定員999人 応募総数4112通(平均倍率4倍)



■受入れ状況は改善

去年の平均倍率8倍(16コース27回、499人、応募総数約3,900人)に比べて、特別ツアー参加の難しさは改善した。しかし依然高倍率。

ミニガイドツアー 京都市文化財マネージャーと行く建築祭

総数 3コース 計79回 ガイド25人
参加者数 695人

中京コース 27回
御所西コース 22回
岡崎コース 30回

京都市文化財マネージャー養成講座を修了した京都市文化財マネージャー25名が有志企画チームを結成。3班に分かれてコース企画・事前調査研究・勉強会を行い、無料ミニツアーを実施した。6日間でのべ72コースを実施し、参加者数はのべ700人にのぼった。また、10月には、文化庁政策課および文化資源活用課の協力のもと、事前勉強会を実施。13名が文化庁を含む府庁敷地内での見学会に参加した。



文化庁事前勉強会



開催日 11/2(木)~4(土) 11/10(金)~12(日)
各日11:00~12:00 / 13:30~14:30 / 15:30~16:30
コース 中京コース/御所西コース※/岡崎コース
集合場所 中京:インフォメーションセンター(クエスチョン)→P14
御所西※:京都府庁旧本館北側(旧議場前)→P14
岡崎:岡崎サテライトセンター(時忘舎)→P16
参加方法 当日直接集合場所へお越しください。開始30分前から集合場所ですり紙を配布します。事前予約不要。
定員 各回10名(先着)
参加費 無料。ただし当日有効の建築祭パスポートが必要です。



※11/11(土)、12(日)の御所西コースは午後のみ。
11時の回はありません。



特別イベント コミュニティ・バンク京信 × 京都モダン建築祭

トークイベント「コミュニティ・バンク構想から考える京都のまちの未来」

日時 2023年11月4日(土) 17時～18時30分

会場 QUESTION(クエスチョン)4階

登壇者 京都信用金庫理事長 榊田隆之さん

京都市京セラ美術館企画推進ディレクター前田尚武さん

定員・参加費 50名／無料

主催 京都信用金庫、京都モダン建築祭実行委員会

協賛 Mikkeller

協力 株式会社三嶋フーズ、水と米、株式会社ルウルウ商會

1971年、日本の金融機関として初めて「コミュニティ・バンク」を提唱した京都信用金庫。その理念を実践するために白羽の矢が向けられたのは、1970年の日本万国博覧会(大阪万博)で活躍した若きクリエイターたちだった。60年代から国際的に知られる日本の建築運動「メタボリズム」を展開していた川添登(建築評論家)、菊竹清訓(建築家)、榮久庵憲司(プロダクトデザイナー)、粟津潔(グラフィックデザイナー)らに一連の支店設計が託され、次々と具現化していった。その数はなんと40店舗以上！そして2020年。新たな時代のコミュニティバンクをめざして開館した地域交流拠点「QUESTION」を会場に、京都信用金庫・榊田隆之理事長と京都市京セラ美術館企画推進ディレクター/京都モダン建築祭実行委員の前田尚武氏のクロストークを開催。2023年に創立100周年を迎えた京都信用金庫の原点であるコミュニティ・バンク構想を振り返り、京都のまちの未来像を語った。当日は会場満席の50名が参加した。



特別イベント 京都市京セラ美術館 モダン建築に泊まろう

CELEBRATING 90TH 京都市美術館90周年記念祭

<関連プログラム>モダン建築に泊まろう

日時 2023年11月10日(金)19時30分～11日(土)9時頃

会場 京都市京セラ美術館中央ホール

参加者 小・中・高生とその保護者 10組

主催 京都モダン建築祭実行委員会、京都市

協賛 Mikkeller

協力 THE NORTH FACE/ザ・ノース・フェイス、
株式会社ブランコ、株式会社三嶋フーズ、水と米、
カルチュラルエデュツーリズムカウンスル

京都市美術館90周年事業の関連プログラムとして、同館開館以来初の館内キャンプを開催。THE NORTH FACE社の協力を得て中央ホールにバックミンスター・フラール監修「2-METER DOME」も展示。学芸員による夜のコレクションルームツアー、懇親会とワークショップなど。親子で夜の美術館を楽しむ一夜限りのプレミアムな企画となった。参加した親子10組。



11月10日(金)

19:30 集合

20:00 夜の美術館ツアー

学芸員によるガイドツアー

20:30 懇親会・ワークショップ

22:00 就寝

11月11日(土)

7:00 起床

8:00 朝食(館内カフェenfuse)

9:00 解散



特別イベント 京都美術工芸大学 建築学生と考える《堀川団地》の未来

【堀川団地会場】4日(土)～5日(日)

[展示] 11月4日(土)～5日(日) 10:00～17:00

[トーク] 11月5日(日) 14:00～16:00

プレゼンテーション: 京都美術工芸大学学生

講評: 倉方俊輔(大阪公立大学教授)

山ノ瀬亮胤(現代美術家、堀川団地在住)

モデレーター: 生川慶一郎(京都美術工芸大学教授)

【京都市京セラ美術館会場】11日(土)～12日(日)

[展示] 11月11日(土) 10:00～18:00

11月12日(日) 12:30～17:00

[トーク] 11月12日(日) 10:30～12:30

プレゼンテーション: 京都美術工芸大学学生

講評: 倉方俊輔(大阪公立大学教授)

前田尚武(京都市京セラ美術館)

高田光雄(京都美術工芸大学教授)

藤田龍平(京都市京セラ美術館ラーニング担当)

モデレーター: 生川慶一郎(京都美術工芸大学教授)

主催 京都美術工芸大学

京都モダン建築祭実行委員会

協力 京都市京セラ美術館ラーニング・プログラム



パスポート特典・連携企画 34件

中京・御所西

八竹庵(旧川崎家住宅) 11/2(木)~4(土)、10(金)~12(日)

通常非公開の【鉢見台】をパスポートで特別公開&入館料割引



京都国際マンガミュージアム(元龍池小学校) 11/10(全)~12(日)

通常立入不可の【校長室】をパスポートで特別公開&入館料割引



- Ace Hotel Kyoto 飲食代10%OFF
- 旧寺江家住宅 裏千家茶道教室「青々庵」社中による呈茶*
- 鳥津製作所 創業記念資料館 入館料割引* ※要事前予約
- 膳處演ばっちり 飲食時1ドリンクサービス
- TSUGU京都三条 by THE SHARE HOTELS ソフトドリンク10%OFF*
- フォーチュンガーデン京都 見学ツアー付ランチ* ※要事前予約
- MARUZEN café 京都店 飲食代100円OFF
- 丸善 京都本店 建築書フェア&購入時缶バッジ贈呈
- salon de 1904 限定珈琲提供*
- 13F COFFEE 7010/BONSAI 福華なおと建築本展。(7010KYOTO建築クイズ)参加権*

西陣

バザールカフェ ドリンク100円OFF*

岡崎

- ウェスティン都ホテル京都 レストラン10%OFF
- 京都市美術館 オリジナルポストカード(非売品)進呈
- 平安神宮 神苑拝観料割引*

河原町・五条

- 大傳梅 飲食時1ドリンクサービス
- 東華茶館 飲食時デザート1品サービス
- フランソア喫茶室 飲食時限定グッズ進呈

衣笠・北野

京都府立堂本印象美術館 入館料無料*

京都駅・七条

- 元淳風小学校 without invitation
作品展示会にてポストカード進呈*
- 龍谷ミュージアム 入館料割引

その他

- 茂庵 飲食時粗品進呈*
- 前田珈琲 飲食時 オリジナルドリップパック進呈 ※京都市内9店舗



堂本印象美術館入館料無料



フランソア喫茶室 限定グッズ進呈



前田珈琲 市内9店舗で
オリジナルドリップパック進呈



京都市京セラ美術館
90周年記念祭 同日程開催

連携企画

中京・御所西

- 革島医院・あめりか屋 11/10(全)~12(日) ①
- 革島医院資料展示・あめりか屋100周年資料展示
- 平安女学院大学 明治館・有栖館、聖アグネス教1 11/11(土)、12(日) ②
- 国際観光学部生によるガイド・カフェ・演奏会、平安女学院中高等部による演奏会

北大路

- 大谷大学 11/11(土)、12(日) ③
- 尋源館(講堂・会議室)公開 ※大谷大学学園開催中

岡崎

- 京都市京セラ美術館 11/11(土)、12(日) ④
- CELEBRATING 90TH 京都市美術館90周年記念祭
- 京都産業大学前田尚武ゼミ再発見! 美術館たてものツアー ※事前予約優先

京都駅・七条

- 東本願寺 講演会「東本願寺 水と緑の散歩道」11/6(月)

その他

- 京都美術工芸大学
建築学生と考える「堀川団地」の未来 展示&トーク
【堀川団地会場】11/4(土)、5(日)、12(日)
【京都市京セラ美術館会場】11/11(土)、12(日)
- 京都大学東南アジア地域研究研究所
展示「川端克神橋界隈いまむかし」| 11/2(木)、4(土)、6(月)~10(金)
ブックトーク「東南アジアの今を読む」| 11/4(日)
- 国立京都国際会館/NIWA café 11/4(土)、12(日)
国際会館見学ツアー(特製モーニング付き) ※要事前予約
- 茂庵 11/5(日)
オノマトヘライブ「空想音楽会」 ※要事前予約

パスポート特典・連携企画②



丸善 京都本店

2023年 京都モダン建築祭 開催記念

笠原一人さん × 倉方俊輔さん トークイベント

《京都モダン建築祭 立ち上げメンバーによる特別対談》

日時: 2023年10月14日(土) 18:00開演(17:30開場)

会場: 地下2階 特設会場にて 先着20名

参加費: 無料(要整理券)※お申し込みはお電話または地下2階カウンターまで

※丸善京都本店地下2階レジカウンターにて、ご希望のお客様に整理券を配布しております。
※整理券がなくなり次第、配布終了とさせていただきます。
※イベント当日はご来場いただいた方からお並びいただけます。
※トークショー終了後にサイン会がございます。

笠原一人(かさほら かずと)
建築作家、京都工芸繊維大学助教、京都モダン建築祭実行委員長、神戸モダン建築祭実行委員、一般社団法人リビングデザインセンター(旧)理事長、東京は現代建築の、建築界の再生論、著書に『デザイン・リノベーション』『特別報告のリノベーション』『建築家 雑誌編集部の仕事』『建築と都市の保存再生デザイン』『国内のモダニズム建築』など多数。

倉方俊輔(くらかた しゅんすけ)
建築作家、大阪公立大学教授、建築そのものの魅力と可能性を、様々な活動を通じて高め、広めようとしている。『建築家 石井義』『京都 近代建築ものがたり』『東京100建築家』は『中野実建築雑誌』『小島謙正建築雑誌』『ユルジュエ』など建築雑誌のほか、日本最大級の建築分科イベント「イケフェス大阪」、「京都モダン建築祭」に立ち上げからのメンバーとして関わっている。

丸善&ジュンク堂書店

9/30トークイベント@大阪
10/14トークイベント@京都

「イケフェス大阪2023」
「京都モダン建築祭」
「神戸モダン建築祭」連携企画
建築書フェア

京阪神6店で連携開催
梅田店・大阪本店・難波店
三宮店・三宮駅前店・京都本店



京友禅ソマル「おふき」付チケット販売



京都市交通局セット券ノベルティ

連携企画 龍谷大学・立命館大学・平安女学院大学・京都大学

龍谷大学



大学院生の指導のもと文学部歴史学科文化遺産学専攻の学生が会場運営。資料作成や受付誘導、説明を行った。また北野信彦教授が随時解説を実施。2日計1081名が列をなす盛況となった。

平安女学院大学



明治館・聖アグネス教会では国際観光学部生がガイドツアー・パイプオルガン演奏・建築関連資料等の展示を実施。新たに公開となった有栖館では、同学部生が企画運営するカフェを営業。また中高箏曲部によるミニ演奏会が開催され大いに賑わった。

立命館大学



以学館・末川記念会館および同学が所有する旧堂本印象邸を公開。学生が会場運営を行うと共に、共通教育推進機構山口洋典教授がガイドツアーを実施し、連日満員。好評を博した。

京都大学



尊攘堂、東南アジア地域研究研究所図書室、花山天文台の3組織が参加。文学研究科千葉豊准教授、東南研大野美紀子准教授、花山天文台石井貴子研究員ほか各院生・学生・スタッフにより運営と解説。展示、トークイベントも連携開催された。

連携企画 大谷大学・東本願寺・毎日新聞・あめりか屋

大谷大学



11日～12日 尋源館公開。当日は学園祭「紫明祭」開催期間にあたり、活気ある大学行事と共に289名※が見学に訪れた。
※パンフレット配布数より算出。アンケート回答0人(大谷大学調べ)

東本願寺



視聴覚ホール公開に加え、鐘楼修理現場見学会を開催。また、僧侶の方がガイドとして白書院・宮御殿・大寝殿内見を含む特別ツアーを実施。さらに期間中に開催された本願寺水道に関する講演会とも連携。多軸的有機的な連携の取り組みとなった。

毎日新聞京都支局



設計者の建築家・若林広幸氏が来場。毎日新聞野上哲支局長と約1時間のトークイベントを実施した。また会場では有志支局員による”号外”仕立ての資料を作成配布。好評を博した。

あめりか屋



革島医院2階での革島医院資料展示と共に、建設時の設計施工から現在も維持管理を担うあめりか屋社員による解説を随時開催。昨年100周年を迎えた同社100年の歩みも資料展示も。

連携企画 京都信用金庫・島津製作所・魚谷繁礼建築研究所

京都信用金庫



◎トークイベント「コミュニティ・バンク構想から考える京都のまちの未来」開催。榊田隆之理事長と京都市京セラ美術館企画推進ディレクターで京都モダン建築祭を立ち上げた前田尚武実行委員が、1971年からコミュニティ・バンクを提唱する京都信用金庫の理念と菊竹清訓建築についてクロストークを行った。(写真右上、同4階CommunityStepsで)

◎「QUESTION(クエスチョン)」1階にインフォメーションセンターを設置(写真左上)

◎北野支店パスポート公開(写真右下)

◎北山支店長によるミニツアー(写真左下)

取組に賛同いただき、さまざまに連携支援いただいた。

島津製作所



島津製作所 創業記念資料館のパスポート公開に合わせ、同館内に歴史資料展示コーナーを特設。また会場内ではOB・同社関係者の解説やワークショップを連日実施し多数参加を得た。

魚谷繁礼建築研究所



郭巨山会所公開期間中、同会所の改修設計で2023年日本建築学会賞を受賞した建築家魚谷繁礼さんによる現地解説を実施。事前予約抽選の応募者数は定員の9倍にのぼった。

クロージングイベント

2023年11月12日(日)

会場 京都市京セラ美術館フードマルシェ会場
[旧正面玄関付近、西広間(本館1階)]

参加者 所有者、関係者、連携企画パートナー、サポスタ 他

参加人数 約200名

内容 乾杯、実行委員長挨拶、
振り返り(来場者数速報値発表など)、フリータイム

京都市京セラ美術館で開催されている「CELEBRATING 90TH 京都市美術館90周年記念祭」のフードマルシェに合流する形で実施。交流と親睦を深めた。



全参加建築リスト①[79件]

パスポート公開	51(2022年 21)
特別ツアーでのみ公開	16(2022年 8)
連携企画でのみ参加	8(2022年 7)
特別ツアー・連携企画で参加	4(2022年 0)

パスポート公開 51件

[中京エリア] 郭巨山会所、カトリック河原町教会、革島医院、旧寺江家住宅店舗及び母屋、京都御幸町教会、京都市役所本庁舎、京都府立医科大学 本部棟(旧附属図書館)、島津製作所 創業記念資料館、TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS(旧日本生命京都三条ビル)、フォーチュンガーデン京都(島津製作所河原町旧本社)、毎日新聞京都ビル、元成徳中学校

[御所西エリア] 今原町家、京都府住宅供給公社堀川団地、京都府庁旧本館、聖アグネス教会、平安女学院大学 有栖川宮旧邸 有栖館、平安女学院大学 明治館

[西陣エリア] OTA.lab(旧太田機業店)、京都市考古資料館(旧西陣織物館)、be京都、藤田家住宅、船岡温泉、元西陣小学校

[北大路エリア] 京都復活教会、紫明会館、日本福音ルーテル賀茂川教会

[衣笠・北野エリア] 櫻谷文庫(旧木島櫻谷家住宅)、衣笠会館(旧藤村岩次郎邸)、衣笠山の家(小林邸)、旧堂本印象邸、京都信用金庫北野支店、立命館大学衣笠キャンパス 以学館・末川記念会館

[岡崎エリア] 関西美術院、京都国立近代美術館、京都市京セラ美術館(京都市美術館)、京都市武道センター(旧武徳殿)、京都府立図書館、時忘舎(旧竹中精麦所)、平安神宮

[京都駅・七条エリア] 顕道会館(浄土真宗本願寺派京都教区教務所)、東本願寺視聴覚ホール(新参拝接待所)・鐘楼、本願寺伝道院 元淳風小学校、龍谷大学大宮学舎

[河原町・五条エリア] 丸福樓(任天堂旧本社社屋)

[その他エリア] 京都信用金庫北山支店、京都大学尊攘堂、京都大学東南アジア地域研究研究所図書室(旧京都織物株式会社本社事務棟) 国立京都国際会館

全参加建築リスト②[79件]

特別ツアーでのみ公開 16件

[中京エリア]京都芸術センター(元明倫小学校)、京都ハリストス正教会 生神女福音聖堂、三条通の近代建築、先斗町歌舞練場

[御所西エリア]大丸ヴィラ

[衣笠・北野エリア]旧本野精吾邸

[京都駅・七条エリア]京都駅ビル

[その他エリア]カトリック伏見教会、関西セミナーハウス、京都大学花山天文台、駒井家住宅(駒井卓・静江記念館)、ザ・プリンス京都宝ヶ池、ザ・ホテル青龍 京都清水(元清水小学校)、聖母女学院(旧陸軍第十六師団司令部庁舎)、武田薬品京都薬用植物園(旧田辺貞吉邸)、山口書店(棟方志功寓居)

連携企画でのみ参加 8件

[中京エリア]京都国際マンガミュージアム(元龍池小学校)、膳處漢ぽっちり(旧富永商店)、八竹庵(旧川崎家住宅)

[西陣エリア]バザールカフェ(クラッパードイン)

[北大路エリア]大谷大学 尋源館

[衣笠・北野エリア]京都府立堂本印象美術館(堂本美術館)

[岡崎エリア]ウェスティン都ホテル京都

[河原町・五条エリア]大傳梅梅(旧北村傳兵衛九代目邸宅)

特別ツアー・連携企画で参加 4件

[中京エリア]Ace Hotel Kyoto(旧京都中央電話局)

[河原町・五条エリア]東華菜館(旧矢尾政レストラン)、フランソア喫茶室

[その他エリア]茂庵(旧谷川茂次郎茶苑)

【開催前】参加建築交流企画ーキックオフミーティング

日時 2023年6月7日(水) 18:00~19:30
場所 京都文化博物館 別館(重要文化財)
参加費 無料
参加者 82名

内容

2023年の概要説明及び参加建築間の交流を目的に実施。

- ・挨拶
- ・2023年度開催概要説明
- ・参加予定建築紹介
- ・建築をテーマにした講演(世界の建築祭と日本の建築祭・動向)
- ・トークセッション

登壇者・スピーカー

笠原一人(京都工芸繊維大学准教授)実行委員長
倉方俊輔(大阪公立大学教授)実行委員
濱崎麻智(京都市観光協会 担当部長)実行委員
前田尚武(京都市京セラ美術館 企画推進ディレクター)実行委員
山口壮八(京都市文化市民局文化財担当部長)実行委員



京都文化博物館 別館ホール



【オフィシャルクラブ】

開催期間 2023年5月～2024年1月

内容 ライブ配信(月2回)
限定公開・ツアー(随時)

参加方法 有料・毎月自動更新

登録者数

全登録者数 575人
のべ参加者数 2,203人
月平均 275人/月

ライブ配信

実施回数 18回

限定公開・ツアー

実施回数 16コース 24回
参加人数 580人
応募総数 742人
参加建築数 22件

運営

まいまい京都

【京都モダン建築祭】オフィシャルクラブ



2023年も大好評のうちに幕を閉じた「京都モダン建築祭」オフィシャルクラブ！

建築祭を立ち上げた3人の専門家が、独自の視点で多彩すぎるテーマに斬り込む月2回のライブ配信。ときにはスペシャルゲストを迎えて、縦横無尽に建築ワールドの深い魅力に迫ります。

そしてなんと、通常非公開のあの名建築が扉を開く・・・
会員限定の建築特別公開。さらには、豪華ガイド陣とのスペシャルツアーやオフ会も。

大好きなモダン建築と各分野のスペシャリスト、そして建築ファンをつなぐ新しい「建築コミュニティ」のカタチ。

モダン建築を楽しみ尽くしましょう！



笠原一人 さん

建築史家。京都工芸繊維大学准教授。京都モダン建築祭実行委員長。専攻は近代建築史、建築保存再生論、リビングヘリテージデザイン理事。著書に『ダッチ・リノベーション』『村野藤吾のリノベーション』『建築家 津辺麟太郎の仕事』『建築と都市の保存再生デザイン』『関西のモダニズム建築』ほか。

笠原先生の近代建築サロン >

[まいまい京都YouTubeチャンネルに出演 >](#)

[担当コースを見る >](#)



倉方俊輔 さん

建築史家。大阪公立大学教授。京都モダン建築祭実行委員。日本近現代の建築史の研究と並行して、建築の価値を社会に広く伝える活動を行っている。著書に『京都 近現代建築ものがたり』『神戸・大阪・京都レトロ建築さんぽ』など。メディア出演に『新美の巨人たち』『マツコの知らない世界』ほか。

[Kurakata Online >](#)

[担当コースを見る >](#)



前田尚武 さん

一級建築士/学芸員。京都市京セラ美術館企画推進ディレクター。京都モダン建築祭実行委員。2003年から森美術館に在籍し、『建築の日本展』『メタボリズムの未来都市展』などの建築展を企画。2019年より現職。「モダン建築の京都展」を手掛けた。森美術館における一連の建築展企画で、2019年度日本建築学会文化賞受賞。

[担当コースを見る >](#)

【オフィシャルクラブ】ライブ配信

ライブ配信（月2回開）

実施回数 18回
ゲスト 7人

京都モダン建築祭実行委員の有識者3名がレギュラースピーカーとして登壇する他、さまざまな分野のスペシャリストや実践者をゲストに招き、建築と都市をめぐる多角的なテーマのライブ配信を月2回実施。専門家の知見を一般人の知的好奇心につなぐ会員制コミュニティとなった。

京都の教会建築を語らナイト	笠原一人
建築公開イベント最前線ーイケフェス大阪からロンドンまでー	橋爪紳也
建築家隈研吾を大特集	倉方俊輔
建築家は映画やドラマでどう描かれるのかー『テルマエ・ロマエ』から『冬ソナ』までー	宮沢洋
宇宙船地球号の建築フラァーと建築家フォスター卿	前田尚武
京都の大学建築を徹底比較	倉方俊輔
モダン建築の三都ー京都、大阪、神戸ー	笠原一人
京都文化博物館を語らナイト	村野正景
世界が注目する日本建築の遺伝子	前田尚武
倉方先生といくギリシア建築の旅	倉方俊輔
韓国の日式建築ー旧植民地・朝鮮半島に残る近代建築ー	渡邊義孝
2023年建築祭、新規参加建築を100倍楽しむ	笠原一人
堀川新文化ビルディングー堀川団地再生プロジェクトの舞台裏ー	大垣守可
建築祭を振り返る、オモテモウラもぶっちゃけトーク	笠原一人・前田尚武・倉方俊輔
「フランク・ロイド・ライト展」を語らナイト	前田尚武
もし東京で建築祭をするなら	倉方俊輔
京都モダン建築祭、つぎは東山だ！	笠原一人
めくるめく石の世界ー世界の丁場からー	矢橋晋太郎・三木隆則

【オフィシャルクラブ】特別公開・限定ツアー

限定公開 4回
限定ツアー 12コース20回

合計参加人数 580人
応募総数 742人
参加建築数 22件



龍谷大学大宮キャンパス特別公開 北野教授の解説講義(上)
大学院生・学生がガイドツアーを実施下)

特別公開	
龍谷大学大宮キャンパス 本館、北覺、南覺、旧守衛所ほか	北野信彦・龍谷大学文学部歴史学科 文化遺産学専攻学生および院生
京都復活教会・ルーテル賀茂川教会	石川祐一・永松尚
TIME'Sビル・毎日新聞京都ビル	笠原一人・倉方俊輔
革島医院	あめりか屋
限定ツアー	
旧喜多邸・山口書店	石川祐一
武田薬品京都薬用植物園(旧田辺貞吉邸)	武田薬品 京都薬用植物園 古賀芳智・萩野哲也
東華菜館	東華菜館・一粒社ヴォーリズ建築事務所 熊倉工務店
京都市庁舎本庁舎	吉田純・武村純一
茂庵・谷川住宅群	石川祐一
堀川団地・堀川新文化ビルヂングへ	生川慶一郎・大垣守可
エースホテル京都	倉方俊輔
平安女学院キャンパス	毛利憲一
任天堂旧本社屋「丸福樓」	丸福樓
京都駅ビル	前田尚武
東本願寺モダン建築めぐり	大江覚成
藤田家住宅・be京都	石川祐一

サポートスタッフ①

応募総数 252人

性別・男女比

男性57人(22.6%) 女性195人(77.4%)

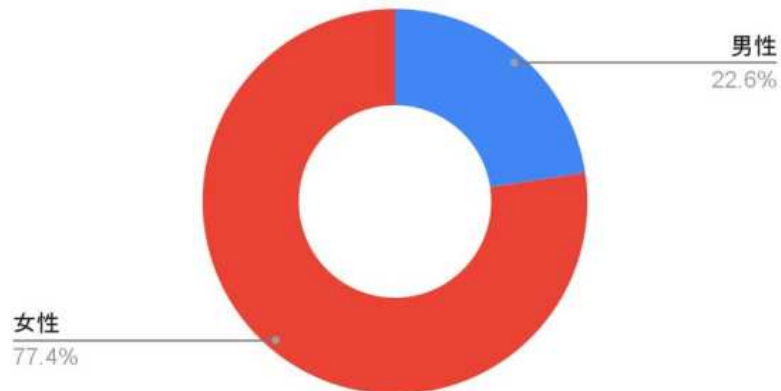
年代[30代以下約38% 40-50代約39% 60代以上約27%]

10代 10人(4%) 20代 54人(21.4%) 30代 22人(8.7%)
40代 38人(15.1%) 50代59人(23.4%) 60代55人(21.8%)
70代人12人(4.8%) 不明2人

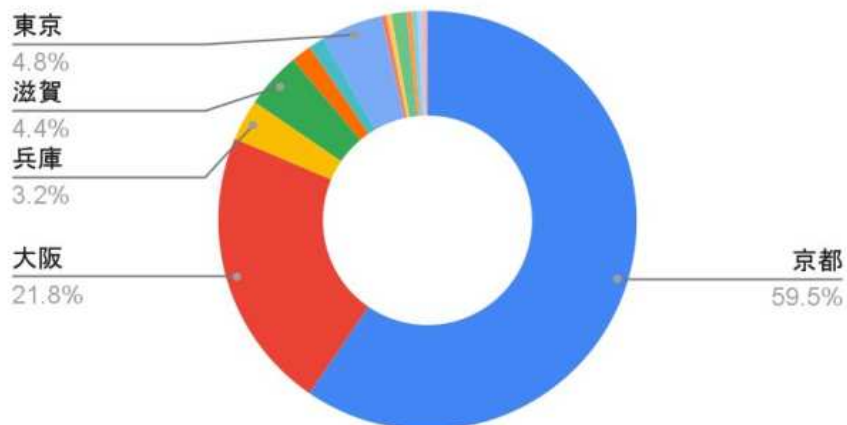
居住地域[近畿約89% 関東東海その他約11%]

京都府 59.5% 大阪府 21.8% 兵庫県 3.2% 滋賀県 4.4% 東京都 4.8%
他奈良県、愛知県、埼玉県、神奈川県、富山県、岐阜県、広島県

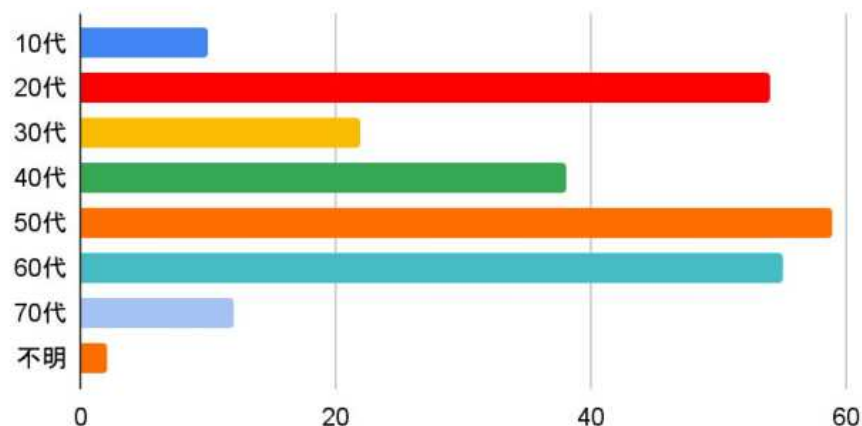
男女比



居住地域



年代



サポートスタッフ②

【活動概要】

8月初旬 サポートスタッフ募集開始

(告知媒体: 建築祭 WEB・Twitter・Instagram、ネットTAM、他)

8月24日 オンライン事前説明会開催

9月20日 スタッフ説明会

9月23日・26日 リーダー説明会・面談

10月20日 スタッフオリエンテーション

10月24日～29日 リーダー向けオンライン個別会場説明会

11月9日 会期後半前レクチャー

【スタッフグッズ】

オリジナルバッジ



広報・パブリックリレーション

フライヤー 30,000枚
B1ポスター 300枚
ガイドブック 15,000部
デジタルサイネージ 地下鉄 4駅／JR京都駅

- 交通局B1ポスター駅掲示 9月初旬～11月12日(日)
- 交通局フライヤー設置・市バス内配架 9月初旬～11月12日(日)
- DS 京都駅コトチカ広場、四条駅北改札外、北大路駅南改札外 山科駅改札外

メールマガジン登録者数 4,418人(2023年12月27日)



B1ポスター



フライヤー(A4 カラー表裏)



ガイドブック(A5 カラー20P)



広報・パブリックリレーション



京都市営地下鉄



京都市バス



地下鉄デジタルサイネージ(4箇所)



JR京都駅デジタルサイネージ
(南北自由通路)



地下鉄車内吊り
(東西線・烏丸線)



セブンイレブン
店頭マルチ
コピー機



京都市市政広報板

インフォメーションセンター&サテライト

京都市内3か所に設置。パスポート実券への引き換えを行った。



インフォメーションセンター QUESTION(クエスチョン)



岡崎サテライト 時忘舎



御所西サテライト be京都

その他制作物



屋内外アイキャッチ用 吊り下げバナー
H600×W300



京都モダン建築祭
受付



What is Kyoto Modern Architecture Festival ?

The Kyoto Modern Architecture Festival is an event that aims to promote the appreciation of modern architecture in Kyoto. It features a variety of activities, including exhibitions, lectures, and tours, designed to provide visitors with a comprehensive understanding of the city's architectural heritage and contemporary scene.

The date & time for openhouse sales according to the architecture.

① November 17th (Sat) ② November 17th (Sat) ③ November 17th (Sat)
④ November 17th (Sat) ⑤ November 17th (Sat) ⑥ November 17th (Sat)

Kyoto Modern Architecture Festival is a PAID event. A passport (ticket) is required.

Cost: 1,000 yen (including tax)
Children (under 12 years old): 500 yen (including tax)
Students (13-19 years old): 800 yen (including tax)
Seniors (65 years and over): 800 yen (including tax)

① Ticket information: [http://www.kyoto-ma-fest.jp/ticket](#)
② Ticket purchase: [http://www.kyoto-ma-fest.jp/ticket](#)
③ Ticket exchange: [http://www.kyoto-ma-fest.jp/ticket](#)
④ Ticket validity: [http://www.kyoto-ma-fest.jp/ticket](#)

建築ごとに必要な各種掲示物



建築祭スタッフ用腕章

- ・ゲストパス・プレスパス
- ・オーディオガイド案内
- ・簡易外国語対応案内 ・チケット引き換え案内
- ・サポスタ活動の手引き など

ウェブ・SNS

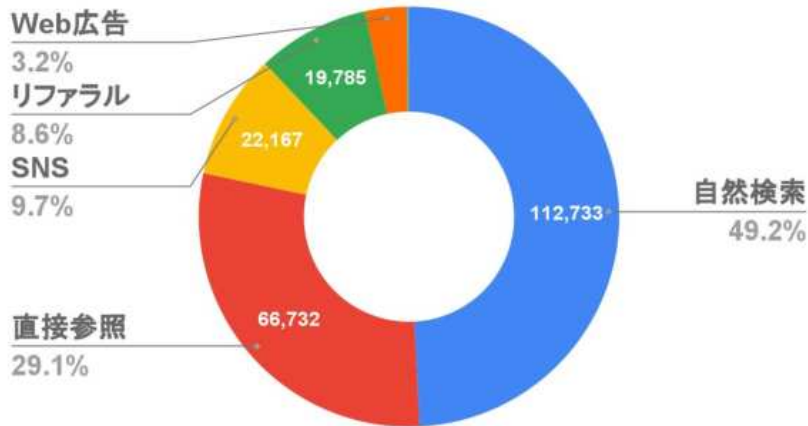
公式ウェブサイト <https://kenchikusai.jp/>

◎セッション数

全期間 2023年7/27～11/12 229,146

開催中 2023年11/2-11/12 77,344

サイト訪問セッション数(流入経路別)



※WEB“検索”流入は、「自然検索」に含まれます(例: 地下鉄・バスの広告、テレビ、新聞・雑誌、ラジオから「京都モダン建築祭」で検索など)

※「リファラル」とは、WEB上のどこかから遷移してきた場合です(例: プレスリリース内のリンク、記事のリンクなど)



ウェブ・SNS

Twitter <https://twitter.com/kenchikusai>

- 開設日 2022年6月10日
- フォロワー数 4,700(2023年12月16日)
2,856(2023年1月20日時点)

Instagram <https://instagram.com/kenchikusai>

- 開設日 2022年7月29日
- フォロワー数 2,667(2023年12月16日)
991(2023年1月20日時点)

公式メールマガジン

- 登録者数 4,418(2023年12月16日時点)



メディア掲載(1)

新聞掲載 12件

6月13日	京都新聞	「近代建築の宝庫」京都の新たな魅力を発見する市内エリアで一斉公開へ
7月26日	毎日新聞	憂楽帳「生きている建築」 野上哲支局長
10月2日	毎日新聞	見学しようモダン建築 来月2～12日第2回一般公開 参加倍増79件「守り残していく文化」醸成を
10月9日	京都新聞	佛教大学提携講座
10月6日	聖教新聞	共生の未来23 街の記憶を語る“生きた証人”たち
11月2日	朝日新聞	エリア別、テーマ別、楽しみ方さまざま 京都モダン建築祭
11月3日	朝日新聞小学生新聞	京都の建築 お寺だけじゃないよ
11月5日	朝日新聞中高生新聞	古くて新しい京都を感じて
11月9日	読売新聞	「各建築公開イベント熱視線」
11月10日	産経新聞	古都のモダン建築ぶらり 京都市内9件、特別公開
11月14日	毎日新聞	4万5千人参加 大盛況 毎日新聞京都ビルなどモダン建築祭閉幕
11月30日	日経新聞	モダン建築の特別公開、関西の秋の名物に 魅力再発見

テレビ 4件

11月9日	BS朝日京都	「あなたの知らない京都旅」 京都文化博物館、八竹庵、京都マンガミュージアム、大丸ヴィラ
11月4日	NHK放送局(京都)	ニュース(関西)
11月7日	朝日放送	ニュースおかえり
11月7日	KBS放送	「きょうとDays」

メディア掲載(2)

雑誌・情報誌 14件

8月	京都市「京まなびいニュースレター」第5号
8月	『月刊京都』9月号
10月	月刊誌『Discover Japan』
10月	京都府 観芸祭(11月開催パンフレット)
10月	月刊誌『Discover Japan』
10月	京都府「まちかどミュージアム」パンフレット
10月	らくはん通信
10月25日	『芸術新潮』
10月12日	『日経アーキテクチュア』
10月10日	『月刊京都』11月号
11月1日	「ぴあ」(冊子)
11月	京阪電車お出かけ情報誌『KPRESS』11月号
2024年2月	『SAVVY』
2024年1月	文化財保護課「彩る通信」

ウェブ 12件

4月23日	エル・デコ ELLE DECOR
8月	KYOTO HUB CULTURE(文化庁連携プラットフォーム)
8月	京都観光Navi
10月	西陣のイマを伝えるマガジンにしZINE
10月	MATCHA
10月	婦人画報
10月27日	そうだ 京都、行こう
10月26日	PPPまちづくり「新・公民連携最前線」
10月26日	Casa Brutus
11月1日	美術展ナビ
11月	BUNGA NET
12月24日	西陣のイマを伝えるマガジンにしZINEコラム

ラジオ 3件

10月	FM87.0ラジオミックス京都
10月17日	FM千里「午後のTALK TIME」
11月2日	NHKラジオ「関西ラジオワイド」

毎日新聞 2023年(令和5年)10月2日(月) 京都 20

京都支局 〒602-0877 京都市上京区河原町西大町1-1 TEL:075-0113151 FAX:075-0211887 kyojoto@mainichi.co.jp

学研・宇治通信部 〒611-0021宇治市宇治西町7番5号 TEL:0774-012084 FAX:0774-012086

舞鶴支局 〒693-0909 舞鶴市丹波寺1-10-9 TEL:0773-760400 FAX:0773-760246 maiduru@mainichi.co.jp

【広告問い合わせ】 075-0200-4230 0120-488012 平日10時～18時

【購読問い合わせ】 075-0200-4230 0120-488012 平日10時～18時

見学しようモダン建築

参加倍増79件「守り残していく文化、醸成を」

「現代建築は、古い建築の文化を継承し、新しい文化を創造する」と、建築家若林広幸さんが語る。見学会では、京都府内のモダン建築を巡り、その歴史や建築意匠について学び、交流の場を設けた。

見学会は、11月2～12日の会期中、それぞれ異なる都道府県を会場とする。参加費は無料。申し込みは、毎日新聞京都ビルにて受け付ける。

参加倍増79件「守り残していく文化、醸成を」

「現代建築は、古い建築の文化を継承し、新しい文化を創造する」と、建築家若林広幸さんが語る。見学会では、京都府内のモダン建築を巡り、その歴史や建築意匠について学び、交流の場を設けた。

京都市「2023年モダン建築見学会」開催

京都市は、11月2～12日の会期中、それぞれ異なる都道府県を会場とする「2023年モダン建築見学会」を開催する。参加費は無料。申し込みは、毎日新聞京都ビルにて受け付ける。

見学会は、11月2～12日の会期中、それぞれ異なる都道府県を会場とする。参加費は無料。申し込みは、毎日新聞京都ビルにて受け付ける。

1928ビルを「継承」

毎日新聞京都ビル初参加

毎日新聞京都ビル(旧1928ビル)3階のホール。京都市中心部で1927年7月、中山和良さん建築師が設計した。11月12日に公開される7階ホールの完成式典に、毎日新聞京都ビルが初参加する。

毎日新聞京都ビル(旧1928ビル)3階のホール。京都市中心部で1927年7月、中山和良さん建築師が設計した。11月12日に公開される7階ホールの完成式典に、毎日新聞京都ビルが初参加する。

京都市の建築家「若林さん」新しい和風「試み」

11月2～12日に開かれる京都市の建築家「若林さん」の新しい和風「試み」。

京都市の建築家「若林さん」の新しい和風「試み」。

京都モダン建築祭今秋再び

公開倍増8エリア 「古建築だけ」のイメージ刷新して

「現代建築は、古い建築の文化を継承し、新しい文化を創造する」と、建築家若林広幸さんが語る。見学会では、京都府内のモダン建築を巡り、その歴史や建築意匠について学び、交流の場を設けた。

見学会は、11月2～12日の会期中、それぞれ異なる都道府県を会場とする。参加費は無料。申し込みは、毎日新聞京都ビルにて受け付ける。

生きている建築

「生きている建築」とは、1992年から続く「英ロンドン」などが有名だ。都市を形作る建築は社会の共有財という認識がある。京都の建築では見学者を「参加者」と呼ぶ。「見る側を見る側」に回る。「脱消費者」です。実行委員長の原一八・京都工芸繊維大学助教授は語る。

「生きている建築」とは、1992年から続く「英ロンドン」などが有名だ。都市を形作る建築は社会の共有財という認識がある。京都の建築では見学者を「参加者」と呼ぶ。「見る側を見る側」に回る。「脱消費者」です。実行委員長の原一八・京都工芸繊維大学助教授は語る。

メディア掲載 新聞②



笠原 一人氏
京都工芸繊維大学 助教

11月、京都市と共催し「京都モダン建築祭」を初めて開催しました。大丸ヴィラをはじめ、京都市内36カ所のモダン建築を一斉公開

共生の未来 (23)

モダン建築は、明治から1960年までの近代建築と、60年から近年までの現代建築を含めた総称です。コンクリートやレンガ造りの洋風の外観に限らず、

京都モダン建築祭 実行委員長
京都工芸繊維大学 助教

木造であってもヨーロッパやアメリカの建築技術、表現が備わっていればモダン建築といえます。例えば、壁が全面ガラス張りになっているもの、屋根裏が鉄道橋のようなトラス構造を有しているものなどです。京都は、和洋のモダン建築が数多く現存している街ですが、それらの価値が評価されることは、これまであまりありませんでした。そこで昨年

街の記憶を物語る「生きた証人」たち

し、3日間で延べ3万人が参加。予想を上回る反響でした。第2回の本年は、11月2日から12日までの11日間、公開予定の建築は70カ所以上。事前購入が必要なたパスポート方式としていきます。建築文化が浸透しているオランダでは、同様の催しが活発に行われ、公開建築は5000件、参加者数はオランダの全人口の7割超に当たる、延べ130万人です。先日、私も参加しましたが、建築を巡りながら多様な国家の歴史や生活文化を知ることができ、とても見応えがありました。京都は、欧米の先進的な技術と日本の伝統的な技術を融合させ、独自の建築文化を築き上げてきました。その背景には「プロフェッサー・アーキテクト」と呼ばれる、大学の先生であり建築家でもある人の存在が大きい。京都工芸繊維大学の初代教授である武田五一を筆頭に、プロフェッサー・アーキテクトが自尊心を裏舞台にしながら、新しい建築の手法を広めたのです。京都大学の時計台や京都市役所等は武田五一が設計または監修しました。建築には、外観や内装、空間に至るまで設計者の意図が込められています。そこから当時の時代背景、地域性、生活習慣や産業の流通まで見えてきます。その意味で、建築文化は街の記憶を建并に物語る「生きた証人」といえます。京都モダン建築祭を通じて京都の近代を学び、さらには建築遺産の保存、私たちの心の豊かさにつながることを願ってやみません。

10月6日(金) 聖教新聞



10月9日(月) 京都新聞



11月10日(金) 産経新聞

メディア掲載 新聞③

2023年11月5日

奈良「金峯山」研究の集大成

名建築公開イベント 熱視線

大阪でスタート 京都神戸に広がる

「古都や港町 都市の歴史見える」

「収益の一部 保存・保全に」

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

11月9日(木)毎日新聞

2023年11月5日

京都モダン建築祭 12日まで

作り手の思い 守る人々がいる

【京都モダン建築祭】

「古都や港町 都市の歴史見える」

「収益の一部 保存・保全に」

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

11月4日(日)朝日小中学生新聞

京都の建築 お寺だけじゃないよ

「モダン建築祭」開催中

【京都モダン建築祭】

「古都や港町 都市の歴史見える」

「収益の一部 保存・保全に」

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

古都の近代化を物語る建築物一つ。商業施設は別荘邸宅に似て、上流階級が暮らすのに使った豪邸です。見渡せば見えますが、背後の歴史を伝えることが目的は、西洋建築のようです。水辺の近代化の発展がデザインを促したのかも。新しいものに目を向けて、今もなお研究の熱が燃えています。

11月9日(木)毎日新聞

メディア掲載 新聞④



毎日新聞京都ビル7階ホールで、設計者の若林広幸さん（手前左）の話に耳を傾ける見学者
 京都府上区で

4万5000人参加 大盛況

京都市内で2日から行われた「京都モダン建築祭」が12日、閉幕した。50件の近現代建築をパスポート購入者に公開するメインプログラムには、延べ4万5000人が参加。3日間の会期に延べ3万人が訪れた昨秋の第1回を大幅に上回った。期間や公開建築数の拡大でひどい混雑は見られず、多彩で多様な建築が楽しめる祭典となった。

最終日の12日のみ公開した毎日新聞京都ビル(上区)には、652人が訪れた。中京区の三条通に面していた旧京都支局の移転で、1999年に河原町通沿いに建てられた7階建て。最上階にある、天井が弧を描くホールが見どころで、野上哲支局長が聞き手となり、設計した建築家の

若林広幸さん(74)が思いや思い出を語るトークもあった。

アーチ形のホールは、近代の建築家を代表する武田五一が設計した旧支局にもあり、若林さんが青年時代に見て感激した体験から、現在のホールを設計した。支局では、そうした継承のエピソードを紹介する「公開特別号」を作成し、熱心に目を通ず人たちの姿が見られた。

旧支局で開かれたピアノコンサートを聴いたという中京区の田中光さん(46)は「モダンな外観の中にぬくもりあるホールがあり、さらに昔のホールとつながっているなんて知らなかった。建物内に入ることができ、とても良かった」と話した。

【南陽子】

11月14日(火)毎日新聞



11月30日(木)日経新聞夕刊

■メディア露出の増加と内容の拡充

- ・メディア掲載(TV、新聞、雑誌、ウェブメディア)は、開催発表以降 45本にのぼった。
- ・新聞: 全国紙である毎日新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、日本経済新聞のいわゆる五大紙すべてに掲載されたほか、地元紙である京都新聞、朝日小学生新聞・中高生新聞にも掲載された。
- ・TV: NHK、朝日放送、KBS放送でニュース放映。BS朝日の特集番組は、YouTubeにも展開された。
- ・雑誌: 月刊『芸術新潮』11月号の巻頭特集で14ページにわたり掲載されたほか、月刊誌『Discover Japan』11月号特集、『月刊京都』9月号・11月号、『日経アーキテクチャ』11月号、『サバイ』2月号にも記事が掲載された。
- ・ウェブメディア: 各情報サイトのほか、「婦人画報」「そうだ京都、行こう。」「カーサ・ブルータス」といった知名度の高い一般メディアにも大きく取り上げられた。
- ・いずれの媒体においても、複数の取材・撮影や有識者インタビューを含む大型の取材依頼が相次いだこと、また建築、美術、観光、京都などの分野誌のほか、一般女性誌にレポート記事が掲載されたことなどから、建築ファンや文化財愛好家だけではなく、幅広い層の潜在的な知的な好奇心に響いた証と類推できる。

メディア掲載 テレビ

- 11月4日(土) NHK放送「ニュース(関西)」
- 11月7日(火) 朝日放送「ニュースおかえり」
- 11月9日(木) BS朝日京都「あなたの知らない京都旅」
- 11月10日(金) KBS京都放送「きょうとDays」



メディア掲載 ウェブ①

DECOR - デコ 名建築が公開される「京都モダン建築祭」が開催

京都に残存するモダン建築を一斉公開！ 第2回目となる今年は、期間とエリアを拡大。

BY CHISATO YAMASHITA | 公開日 2023/04/20



京都・京都モダン建築祭会場11号館

近代に建てられた名建築の数々を公開する「京都モダン建築祭」が、今年も開催される。会期は11月2日（木）から12日（日）の11日間。昨年好評を博した特別ツアーに加え、多彩な関連イベントも実施予定だ。

いつか訪れたい、京都の美しいお家です

クリエイターが推薦！いま京都で超るべき新旧建築14



京都・宇治法人学校旧校舎

積み重ねられた歴史に社会、経済、文化、そして市民の生活が醸成してきた“その都市らしさ”が色濃く表出するモダン建築。近代以降、戦争や災害の被害が少なかった京都には、そんなモダン建築が数多く残存している。

ELLE デコ(4月20日公開)



建築家 建築家 建築家 建築家 建築家 建築家 建築家 建築家 建築家 建築家

11/10 京都市京セラ美術館に泊まれる！開館以来初のプレミアム体験を。



京セラ美術館

京セラ美術館は、京都市京セラ美術館が、11月10日（土）に、京セラ美術館（京セラ美術館）で開催される「京都モダン建築祭」の特別イベントとして、京セラ美術館に泊まれるという特別な体験を提供する。このイベントは、京セラ美術館の歴史と文化を体験できる貴重な機会である。参加費は無料である。

京セラ美術館



京都

MATCHA - 訪日外国人観光客向け Web マガジン



【建築家の仕事へ】建築家、共に、もっとの仕事をぜひお任せください！ ▶ 建築家の仕事はこちらへ

TOP > 事例研究

事例研究

都市の財産である建築の価値を再発見、京都モダン建築祭

実行委員会と京都市が共催、初開催の2022年は約3万人が見学

報告者 佐藤 孝太郎

2023.04

記事の長さ 10分 | 5分 | 1分 | 1分 | 1分

2023年11月2日～12日、京都市で建築一斉公開イベント「京都モダン建築祭」が開催される。昨年の初開催では36件の建築が参加、3日間で約3万人が見学に訪れた。今年も会期を11日間に増やし、参加する建築は倍以上の79件になる見込みという。開催の経緯と意義、運営の工夫などについて、共催の京都モダン建築祭実行委員会（以下、実行委員会）と京都市、事務局に聞いた。

▶ 実行委員会が掲げるのは「見学、交流、発見」の3つのキーワード。一帯が「見学、交流、発見」の3つのキーワードを軸に、様々な取り組みを展開している。

通常は観光の対象になっていない、または西型に当て入れない建築を、期間限定で公開し、見学を促すのが「建築公開イベント」だ。「京都モダン建築祭」もこうしたスタイルのイベントの1つである。同イベントの実行委員会で京都市立繊維大学助教の佐藤 孝太郎氏によれば「1964年にフランス・パリで開催されたのが始まり」という。現在は、マシナギ（国単位）、ロンドン（都市単位）をはじめ、世界を中心に各地で定期的に開催されている。



京都モダン建築祭



京都モダン建築祭会場11号館

日経BP総合研究所PPPまちづくり
「新・公民連携最前線」(10月26日公開)

メディア掲載 ウェブ②



京都モダン建築祭

2023年11月2日(木)～12日(日)

※一斉公開日 11月2日(木)～4日(土)、10日(金)～12日(日)の計6日間

※11月5日(日)～9日(木)の期間はガイドツアーや各種企画を実施予定

※各建築により公開日時等が異なります。

詳細購入



丸座敷(在天童田井以風(清沢) 京都モダン建築研究会)



京navi



明治以降、京都市内に築られた文藝的・芸術的価値の高い建築物が、1年に1回、一斉に公開される「京都モダン建築祭」が11月2日(木)に開幕する。



京都府庁本館 (国沢) 京都モダン建築研究会(国沢)

京都は、戦前や戦後の建築が比較的少なかったことから、戦後期以降に近年建築の動向を受けて築られた「モダン建築」が多く残っています。しかし、国内外から多くの観光客を集める京都の神社仏閣や町家などに出比べると、その存在は十分に知られていません。

2021年に京都市セラセラ美術館で開催された委員会「モダン建築の京都」をきっかけに、建築物の特別公開や探訪ツアーの実施、由緒ある古いアプリの開発、オンライン・コミュニティ・サロンの開催など「モダン建築」に関する活動が大々的に行われました。



美術展なび

BUNGA NET

Architectural City Design & Life

ホーム NEWS一覧 プロフィール=Office Bunga メルマガ申し込みや仕事の依頼

日曜コラム洋々亭56:「京都モダン建築祭」と「イクフェス大阪」が指し示す、今後の建築公開イベントの選択肢

2023年11月5日

カテゴリ: 日曜コラム洋々亭

by miyazawa_bunga

Like 105

Post

Share

Pocket

新しいタイトルになってしまいましたが、新しい話ではない。後の建築公開イベントに2つ行ってきました。どちらか面白いのでもっと広まらないかなーという報告書記事である。



左は「京都モダン建築祭」のガイドブック、右は「イクフェス大阪」のガイドブックの中の「セッターロード」のページ (写真・宮沢洋)

1つは、「前半終了、後半入り」というタイミングの『京都モダン建築祭』、昨年が第5回で、今年2回目となる、公開エリアは昨年より大幅に広がっている。昨年、実行委員長で建築史家の立岡一人氏にインタビューしたので、イベントの立ち上げの経緯についてはこちらを読んでほしい。

BUNGA NET

メディア掲載 ウェブ③



京都に伝わるモダン建築が一堂に集まれる「京都モダン建築祭」。昨年（2022年）は好評につき今年（2023年）は、東門の上ノ本大通りにも11月17日に集まらる、パワースポットの醍醐のイベントにもご紹介。ます。

「こちらの建築もチェック！」
「こちらの記事も読んでください」

京都モダン建築祭とは？



大塚邸（醍醐）

近代以降、西洋建築の普及が促されたことから、京都にもモダン建築が数多く建ち、様々な人の暮らしの中心に育ち続けています。京都モダン建築祭は、「京都の建物と人との暮らしを大切にし、思いやりを、未来へ伝える」という思いを込めて作られたイベントです。前回は多くの建築愛好家の方からご参加いただき、大変好評でしたが、今年は11月17日にも、エリアがさらに広がります。開催までです。



🏠 > 季節のイベント > 京都 > 京都モダン建築祭【11/2(木)~12(日)】

京都 季節のイベント

2023年10月17日

京都モダン建築祭【11/2(木)~12(日)】



京都市内エリア担当の1です。京都のモダン建築が一堂公開される「京都モダン建築祭」がスタートします！

敷島住宅 Shikisjimatown (10月27日公開)

そうだ 京都、行こう。(10月27日公開)



京都で建築の“美”に触れる「京都モダン建築祭」開催！

京都市内の近代建築が一堂公開。貴重な建築物を見学できる好機会です。



香住仏堂、町家など古い建築が数多く残る京都。そのイメージが強い印象ですが、戦前～戦後に建てられた白亜的な建築も多く残っているのをご存知でしょうか。歴史的な人が受け継いできた人々の暮らしの物語は、建築当時の建築を伝えています。その多くが現存して残っています。

そんな京都の近代建築が一堂に公開されるのが、2022年から始まった「京都モダン建築祭」。前年の盛り上がりを受けて、2023年は11月2日(木)～12日(日)の11日間の開催に拡大されました。

参加料は無料です。京都市内の50軒の建築が公開され、1日1コースを提案された仕組みが人気です。



大塚邸（醍醐）

「京都モダン建築祭」では、京都府立園芸大学附属、平安堂女子大学の明治館、同志社大学大講堂など、戦前は7千から1万人までが来た大講堂の建物も公開。白亜建築の手法を知りたければ、特徴的な瓦葺い屋根や木造の建物などに当時の建築を再現した建築祭の美意識が感じられます。



婦人画報サイト (10月30日公開)

メディア掲載 ウェブ④



BRUTUS.
Casa

A

ARCHITECTURE

京都のモダン建築が一斉に公開される11日間。

October 26, 2023 | Architecture, Culture, Travel | casabrutus.com | photo_提供: 京都モダン建築祭実行委員会
※ text_Housekeeper

「千年の都」と称えられる京都は、古い建築を大切に守り継いできた都市でもある。2023年11月2日から12日まで開催される「京都モダン建築祭」では、そんな京都の街の記憶を物語るモダン建築が一斉に公開される。



2023年に創業90周年を迎えた〈京都市京セラ美術館〉。2020年、建築家青木淳・西澤徹夫により、創業時の趣を残しつつ現代の基準に合わせたリノベーションがなされた。photo_Yuji Ono

近代以降、戦争や震災の被害を受けることが少なかった京都は、モダン建築を多く保存してきた。しかし、京都といえば神社仏閣、桜や紅葉……。観光のメインとして建築があることは、そんなに多くなかったはずだ。

2021年に〈京都市京セラ美術館〉で開催された『モダン建築の京都展』では、そんな京都の建築に光を当て、原図面や模型、写真や映像、家具などを展示。また、現存するモダン建築をホッピングしてみたくなる、街と連携した仕組みを作り、新しい視点の観光を生み出し

西陣のイマをつたえるマガジン -にしZINE

にしZINE 【にしZINE】
西陣のイマをつたえるマガジン

めざましもの 西陣の歴史と | 活性化の取組 プロジェクト等 | イベント 西陣の建築祭 | にし人 西陣のひと

イベント

西陣の最新情報

上記のページは、ZINEのトップページです。京都モダン建築祭

西陣
京都モダン建築祭



開催概要

京都モダン建築祭は、京都で大切に守り継がれてきたモダン建築が日輪船定で特別に公開される、建築一斉公開イベントです。

普段は一般公開されていない建築を公開するメインプログラム「ベスト公開」のほか、ガイドツアー、特別イベント、連携企業など、多彩なプログラムが期間中に行われます。

2022年にはじまった京都モダン建築祭ですが、今年には西陣エリアも加わりさらに充実しています。

朝と夕方より早く立ち見のみで、歴史の人々によって大切に守り継がれてきたこの街の豊潤をそれぞれの楽しみ方で体験してください。

平等女子院、聖アグネス教会、京都府庁旧本館、森田家住宅、民間美術館、後援教会など、詳しくはフライヤーまたはWEBサイトに詳しく載っています。

ぜひこの機会に足を運んでください。

●一斉公開日

・11月2日(木)～4日(土)

・11月10日(金)～12日(日)計6日間



Casa BRUTUS.com(10月26日公開)

メディア掲載 雑誌・情報誌



月刊誌『Discover Japan』11月号 京都特集「美味しいレトロ建築」企画内



『ぴあ』(11月号)



『芸術新潮』11月号 特集「ひみつの京都」企画内



『日経アーキテクチャ』10月12号

メディア掲載 雑誌・情報誌



らくはん通信(10月号)



『月刊京都』9月号・11月号
「まるわかり京都ニュース」



SAVVY(2024年2月号)

オーディオガイド(無料公開) 47建築 新規24件

建築祭実行委員の建築史家が、公開建築の見どころ、特徴、歴史背景などを独自の視点で熱く語る音声ガイドを収録し、無料公開。建築祭をもっと楽しむツールとして、事前の勉強、後日の振り返りに活用された。アプリ「まいまいポケット」またはウェブブラウザ版から直接聞くことができる。



■今年も好評だが、さらなる浸透と機能強化が課題
新規24件を追加し、47建築で無料オーディオガイドを公開。
アンケート「よかったプログラム」として26%の参加者が支持。
自由記述での言及も多かった。

2023年新たな収録建築: 24建築

旧寺江家住宅店舗及び母屋
be京都
日本福音ルーテル賀茂川教会
関西美術院
櫻谷文庫(旧木島櫻谷家住宅)
衣笠会館(旧藤村岩次郎邸)
京都大学 東南アジア地域研究研究所図書室
(旧京都織物株式会社本社事務棟)
フランソア喫茶室
毎日新聞京都ビル
顕道会館(浄土真宗本願寺派京都教区教務所)
東本願寺視聴覚ホール(新参拝接待所)
本願寺伝道院
京都国立近代美術館
京都信用金庫 北野支店
元淳風小学校
元西陣小学校
船岡温泉
時忘舎(旧竹中精麦所)
京都復活教会
島津製作所 創業記念資料館
京都府立医科大学 本部棟(旧附属図書館)
紫明会館
京都大学 尊攘堂
TSUGU 京都三条 by THE SHARE HOTELS

寄付・協賛

パートナー(協賛企業様)



Kyoto Localized

パートナー(企業・団体からの協賛)

企業協賛 **2社 800,000円**

ゴールドパートナー コミュニティ・バンク京信

シルバーパートナー Kyoto Localized

サポーター(個人寄付)

Syncable(寄付サイト)経由 **68名 874,350円**

口座振り込み **7名 169,000円**

合計 75名 1,043,350円

支援いただいた方 **2団体・75名**

集まった支援金額 **1,843,350円**

多大なるご支援・ご協力をありがとうございました

寄付・協賛特典

■パートナー企業協賛

	協賛金額	建築祭 パスポート ※受付締切 2023年10月1日	建築祭 広報ツールへの 企業・団体名等の掲載			交流会
			公式サイト	ポスター ※受付締切 2023年7月1日	当日パンフレット ※受付締切 2023年9月1日	
プラチナ	¥1,000,000	50枚	ロゴ大	ロゴ	ロゴ	○
ゴールド	¥500,000	25枚	ロゴ中	ロゴ	—	○
シルバー	¥300,000	15枚	ロゴ小	—	—	○
ブロンズ	¥100,000	5枚	テキスト	—	—	○

■サポーター(個人の方からの寄付)

2023年10月1日までに、10,000円以上のご寄付をいただいた個人サポーターの方には、特別仕様の京都モダン建築祭パスポート(ホログラムバージョン)を進呈しました。



	チケット料金	パスポート(全期間)	1DAYパスポート(全期間)
一般	オンライン決済 4,000円 現金/クレジットカード/QRコード決済 4,500円	4,000円	2,000円
U20(18歳以下)	オンライン決済 2,000円	2,000円	—

主催 | 京都モダン建築祭実行委員会 共催 | 京都市 問い合わせ | info@kenchikusai.jp

パートナー | 京都信用金庫

本事業は令和1年度文化庁文化芸術振興補助金(地域文化財総合活用推進事業)の補助を受けて実施しています。



実行委員会

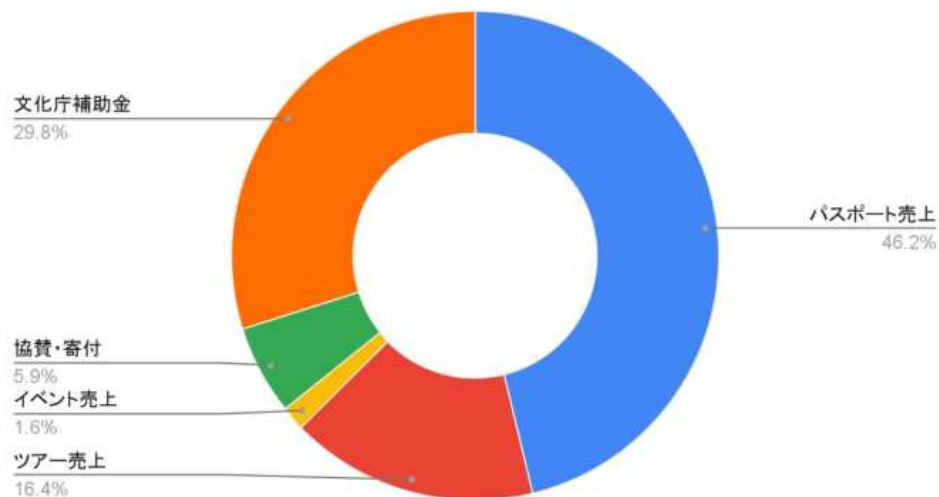
実行委員会

実行委員長	笠原一人(京都工芸繊維大学准教授)
委員	倉方俊輔(大阪公立大学教授)
	濱崎麻智(京都市観光協会 担当部長)
	前田尚武(京都市京セラ美術館 企画推進ディレクター)
	山口壮八(京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財担当部長)
	以倉敬之(まいまい京都 代表)
監事	恵良陽一(京都市産業観光局観光MICE推進室 観光誘客誘致課長)
	高田光治(京都ユースホステル協会 専務理事)
アドバイザー	石川祐一(京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財保護課)
事務局	まいまい京都



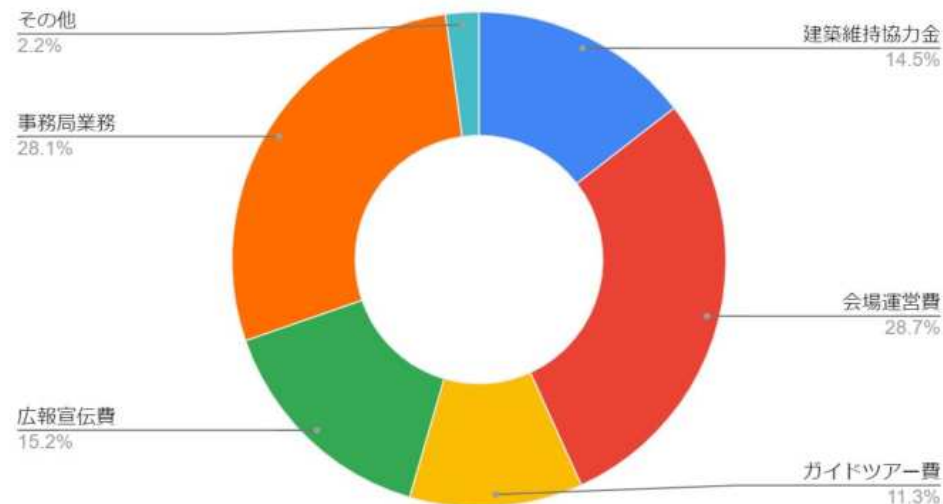
補足資料 収支表

収入 ¥30,222,900-



パスポート売上	13,956,900
ツアー売上	4,970,000
イベント売上	480,000
協賛・寄付	1,795,000
文化庁補助金	9,021,000
収入合計	¥30,222,900

支出 ¥32,943,519-



建築維持協力金	4,781,600
会場運営費	9,449,690
ガイドツアー費	3,734,730
広報宣伝費	4,992,694
事務局業務	9,269,729
その他	715,076
支出合計	32,943,519

■2023年も収支は赤字、民間支援で遂行した

文化庁からの補助金に採択されたことは大きな推進力となった。しかしパスポート売上は枚数・金額ともに想定を大きく下回り、全体で約270万円の赤字となった。不足資金は事務局を担う民間組織であるまいまい京都の補填により補った。

■今後の持続可能性と財源確保に向けて

引き続き企業協賛・個人寄付を募ることに加え、収入増加と根本的な収益源の創出が不可欠と考える。